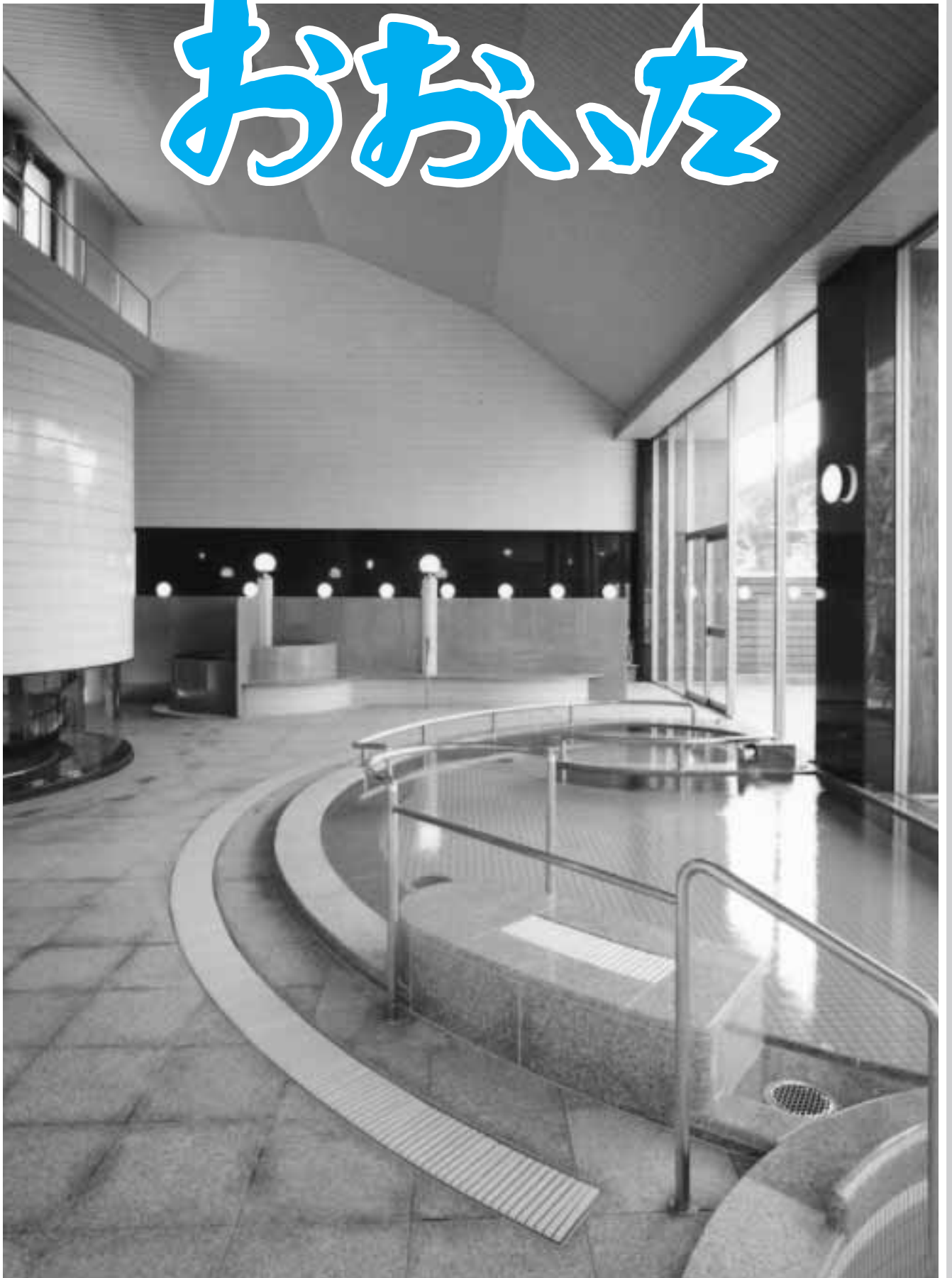


建築士

おおた



2003 NO 86

士 楽 豊

式 活 活

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

~ 会 員 二 人 で、一 人 の 入 会 勧 誘 を ~
目 標 3,000 人 突 破



社 団 法 人 大 分 県 建 築 士 会

CONTENTS

1. 巻頭言	会長 岩瀬八洲夫
2. 第45回建築士会全国大会・三重大会に参加して	青年部会長 今永 和浩
3. アジアグリーンネット中国訪問研修記	大分支部 姫野英次郎
4. 第16回サマーセミナーin佐伯	佐伯支部
8. 大分市戸次本町まちづくり	大分支部 松崎 和夫
14. 建築業務とCAD その5	大分支部 江藤 邦雄
16. 舌検隊 パート二 第5回 伊勢の巻	大分支部 宮崎 敏信
18. 個人的図書紹介 わたしのアラタ・イソザキ	臼杵支部 虚無院
20. わたしの建築 (My Work)	中津支部 中津支部 日田支部
22. 第17回豊の国木造建築賞	
24. 会員紹介 PERSONAL INFLUENCE 佐賀関支部	中津支部 別府支部 日田支部
26. 「情報コーナー」...知っちゃなかえ	
27. シリーズ登録文化財 No.9 久垣家住宅	
28. インフォメーション	
~ 大分支部 ~ 足立 忠明	
~ 中津支部 ~ 山村 増治	
~ 津久見支部 ~ 濱野 一明	
~ 竹田支部 ~ 工藤 伸吾	
~ 日田支部 ~ 原田 裕文 ほか	
~ 佐賀関支部 ~ 渡辺 豊基	
37. 平成14年 建築士会まちづくり活動助成事業中間報告	臼杵支部 日田支部 竹田支部 宇佐支部
40. 事務局だより	事務局
42. 平成14年度 1級・2級建築士試験合格発表・新会員紹介	事務局
43. 編集後記	

表紙説明



『工事概要』

名称：健康リフレッシュ館 やよいの湯
竣工日：2002年7月31日『10月1日』OPEN
発注者：弥生町
設計者：株式会社 乃村工藝社
施工者：梅林・ヤマト富永建設 工事共同企業体

建設地：南海部郡弥生町大字上小倉898 - 1 (道の駅やよい隣)
規模：RC・S造 地上1階・地下1階 延 1,669.99㎡
施設：死海の湯・光明石温泉・カルシウム温泉・サウナ
露天風呂・家族風呂・レストラン
営業：午前10:30～午後10:00
TEL 0972 - 46 - 5841

2017年12月26日発行
 建築士大分 No.86



会報誌のページが増えるたび
 関連性探しと戦う編集員... (汗の)

お疲れさまでした
 来年もがんばります

県南支店の

パート終わったぞ...
 オカッ

まとめました..

おつかいします。 [K]

広報委員会

担当副会長	竹田	松井	基泰
担当常務理事	大分	宮崎	敏信
委員長	大分	宮崎	隆博
副委員長	竹田	川野	和男
委員	別府	原	精一郎
"	大分	牛嶋	義文
"	臼杵	笠木	忠昭
"	佐伯	風戸	彰
"	三重	岡部	達巳
"	中津	是本	正昭

事務局長	本部	御手洗	頼明
職員	本部	手島	涼子
職員	本部	川村	彩希江

編集委員

編集長	臼杵	笠木	木忠	昭
副編集長	国東	寺川	義昭	昭
"	竹田	野村	忠	忠
編集委員	高田	成重	憲一	一
"	別府	工藤	圭介	介
"	大分	中園	幸治	治
"	大分	佐藤	安典	典
"	大分	坪井	敬行	行
"	大分	飯倉	尚之	之
"	大分	安藤	幸子	子
"	大分	久野	雅	子
"	佐賀	佐々木	仁浩	浩
"	臼杵	佐々木	仁志	志
"	臼杵	久野	悦子	子
"	津見	濱野	一明	明
"	佐伯	小川	稔浩	浩
"	三重	川崎	秀二	二
"	玖珠	後藤	喜美男	男
"	日田	武内	淳一	一
"	中津	山村	増治	治
"	宇佐	椋田	康	一

建築士大分

2003.1 No.86

(非売品)

平成14年12月26日 印刷
 平成15年 1月 1日 発行

編集/発行所
 社団法人

大分県建築士会
 〒870-0022
 大分市大手町2丁目2-7田原ビル2F
 TEL 097-532-6607
 FAX 097-532-6635



巻 頭 言

「建築士資格習得後の継続的能力開発制度 (CPD)に参加・登録を」

会長 岩瀬 八洲夫

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大分県建築士会に対しまして運営、事業と格別のご協力をいただきましたことを心から御礼申し上げます。本年もこれまで同様、会員皆様のご指導、ご協力をよろしく申し上げます。

昨年は、相も変わらずに先行きの見えない日々が続きましたが、会員の皆様は厳しい社会情勢に負けずに仕事に頑張っておられることと思います。

私たち建築士はいったん建築士の資格を習得しますと、建築士法により定められた独占的な業務を行うことができますが、日々の設計・工事管理等の業務に追われ、なかなか自己研鑽の場への参加機会が少なく、こんにちのめまぐるしい技術革新・知識の習得、また街づくり活動等の各事業への参画が難しい状態であります。このようななか、最近の社会の私たち建築士に対する目にも厳しいものがあり、他の「士」(医師、弁護士)の付く人たちと比較され、建築士の社会認識に対する甘さが指摘されております。

このような社会情勢に答えるべく、建築士会連合会が「建築士資格習得後の継続的能力開発制度」(通称：CPD)の取り組みを始めましたことは、皆様も会誌「建築士」等によりご存知のことと思います。この制度は建築士全員が日頃の実務実績に加え、一定期間に最低単位以上の研修会・講習会への参加、また街づくり事業等への取り組み、社会活動を行い、社会の建築士に対する不信の払拭に努めてゆきながら自己の実務実績、研修会・講習会の参加、社会的活動等をCPD手帳に記録をし、自己の啓発に務め「建築士に付託された社会的な責務を全うするに必要な能力開発の内容を社会に明示していく。」という目的により発足した制度であり、将来的には「専攻建築士制度」へと発展させ自己の責任のもてる領域を社会に対して明確にしていこうという制度であります。

大分県建築士会におきましても昨年の支部長・理事合同会議において、「建築士継続的能力開発制度普及推進特別委員会」の発足について議案提案をし、賛同を受けましたので「委員会」が発足したところであります。これからは「委員会」により会員の皆様にこの制度の説明・PR・普及活動を行っていく計画であります。

すでに大阪府建築士会におきましては、昨年の10月にこの制度の説明会を行い大変に好評で、多数の登録参加を得ているようですが、その好評の要因としまして一番多い言葉が自己研鑽の励み、一助になり社会に対し誇れるということのようで制度の発足が遅すぎたとの表現も多数あったとのことです。大分県建築士会会員の皆様もぜひこの制度をご理解していただき、登録参加(CPD手帳の購入)を行い自己研鑽に努めてほしいと思います。

最後になりましたが、本年も会員皆様方にとりまして新しい発展と実り多き年となりますようにご祈念をいたしまして新年のご挨拶と致します。

第45回建築士会全国大会 三重大会に参加して

青年部会長 今永 和浩



今年の全国大会は、近年の建築業界のキーワード環境を取り入れて「環境・人間・建築の三重奏」と題し、(社)日本建築士会連合会創立50周年記念と合わせて開催されました。

大分からの参加は総勢30名余りでしたが、近年の格安航空券ブームも手伝ってか、私が参加した本会ツアーよりも個人予約での参加のほうがずいぶん安く付いたようでした。今後は遠方での大会は、ツアーの形式を見直した方が良いのでは？

しかしながら、ツアーそのものは、元美人宝ジェンヌのガイドさんと、仕事よりもシャベクリが舌好調なT氏の夫婦漫才が果てしなく続く中、和気あいあいと、進んでいきました。



大会会場のサンアリーナに早く着きすぎたため、元祖夫婦岩見学のオプションツアーとなりませんが、全国各地に見られる**二見岩の総本山にしては、かなり小振りな事実になんがっかりしたのですが、そこはさすがに本家、岩と岩の間から富士山が拝めるのは全国でもここだけとの事。



CPD手帳

その後ツアーバスは、私と佐賀支部の渡辺氏、岩瀬会長を残し、伊勢市内観光へ向かったのですが、青年部としては九州代表の福岡と佐賀のフォーラム屋台

の陣中見舞いをせねばと意気込んでコラボレーションフォーラムへと乗り込みました。福岡士会の「若松バンド」はすぐに発見できましたが、佐賀士会のブースが見あたらない、2回3回会場内をウロウロ、まさかドタキャン？.....あとで確認したところによると無人のブースで佐賀士会の名称も出ていなかったとのこと、九州の代表で出しているのだから、全国にしっかりアピールして欲しかった。

CPDのセッションでは、私が九州の代表としてパネルディスカッションに参加しました。内容の詳細はCD-Rに焼いて各支部に配布しましたのでごらんになってください。ここではCPD手帳とバーコードシールを掲載します。



大会式典を荘厳な雰囲気導いた舞楽のアトラクション

式典の最後には、各士会の紹介がF1のテーマに乗って(さすが鈴鹿)行われ、来年の開催地、宮崎のオレンジ色のスタッフジャンパー150名余りに宮崎の気合いを感じました。全国大会は各ブロック単位での主催と位置づけられていますので、我々もブロックの一員として盛り上げで行かねばなりません、来年は皆さんの更なるご協力をお願いします。



松坂商人の万両箱の説明に聞き入る参加メンバー



松坂で見つけた組み込み照明と、関宿の街並み

アジアグリーンネット 中国訪問研修記

大分空港に昼の11時30分に集合、「いよいよ中国に向けて出発だ!」と思ったが、上海行きの飛行機がまだ着いていないではないか。あらま!それが珍道中の始まりでした。やっと一時間遅れで出発して30分で上海に着きました?(らっき~、なんと日本海の海上で1時間の得をしました。)

14時00分に無事、上海空港に着きました!入国手続きも済み(いつも、緊張するなあ)しばらくは、バスに乗り上海見学だあー。

あっ!申し遅れましたが、この旅行は、大分県林業青年会議所の中国訪問団の一行で、木材の生産者から加工、施工者、建築士などの集まりです。

今回は、中国の林業関係者と親睦を深め意見交換をし、交流の植樹をするのが主な目的です。総勢18名の大人数でした!

さてさて、初めての上海に着いた私は、「あぜん!」ここは東京?僕が考えていた中国とはあまりにも違っていました。中国と言えば、ジャッキーチェンが登場する、カンフーの町並み、人民服の無愛想な人々でしたが、予想とは裏腹に近代的な巨大な建物群、カラフルな若者たち。「すげえー、すげえー」の連発でした。ものすごい、スピードで経済が発展しているのを感じました。まさに“脅威”でした。広大な土地の広さ、13億の人口のパワー、まさに中国でした。

カルチャーショックに陥った私でしたが、すぐに中国茶のお店に入り、美人の彼女らにお茶をたまわれ機嫌をよくして、いざ目的地、^{フモイ}廈門へ出発!

(空路1時間30分)

宿泊ホテルに着いたのは9時過ぎ、(ふう~)とてもハードな一日でした。おやすみなさい。。。。でも、足つぽマッサージへGOー!



11月10日 今日の予定は、世界木材博覧会の会場で視察研修、博覧会事務局表敬訪問、廈門製材工場視察、廈門市林業関係者交換会。

博覧会では、主に建築建材の価値の安さに、びっくりしました。日本では10万円する玄関戸が中国では1万円です、(ウォー)(これらを持って帰りきったら、内の会社も儲かるのになあ...)

製材工場では、日本向けの家具を造っていました。製材、加工、組立、塗装までを大きな工場で生産していました。人件費は日本円で約20,000円だそうです。やはり、どうあがいても中国製には、勝てませんねえ!(まったく~)

意見交換会では、双方の活発な意見が飛びあい、そのまま交流会へレッツゴー!地元の料理がご馳走され、大変おいしかったです。(さすがに、山鳩の頭とミミズには、ビックリしましたけど)



11月11日 本日の予定は、廈門市長表敬訪問、交流植樹。

朝、起きてバスに乗り込み、思わずビックリ!!なんとパトカー先導で赤信号もなんのその、ノンストップで廈門市役所へ直行、市役所では手厚い歓迎を受けてすごい部屋に案内され、なんとテレビ局2社、新聞社2社が、待ち構えていました。極度の緊張から解放され、最終目的の植樹に...かなりバスに揺られて着きました。それから険しい山道を上り、(ふう)斜面に、木の苗を植えました。(大きく育てよ!)廈門市のボランティアの皆さん、ありがとうございました。(シェイ、シェイ)

無事、視察の日程も終わり、空路、上海へ出発!上海に着いて食事をして、皆さんと上海雑伎団を見に行きました!会場の中では、ほとんどの人が外国人で、とても人気がありましたね。(とにかく、演技はすばらしかったですよ!)

11月12日 やっと大分に帰ります。

三泊四日の中国訪問は、私にとってすごく勉強になりました。今の中国は外国の資本を入れながら、アメリカに似た自由経済を取り入れ、すごい勢いで発展していると思います。今回の大分県林業青年会議所の中国訪問も中国の林業関係者と密接な交流を持ち、情報交換をすることで今後も協力ができればいいと思います。

今度は大分の建築士会で中国に行きたいですね!(誰か、連れてって)

ちなみに、帰りも空港のトラブルに巻き込まれて、やっとこさ帰ってきました。(帰りも、出発が遅れ、時差では、1時間、損したど~)

(大分支部 姫野 英次郎)

第16回

サマーセミナーinさいき

爽秋の唄げんかの里でトトロに逢えたら・・・

考えよう！ 自らの未来 自らの手で!!

於：宇目町 『ふれあいセンタ-』
『うめキャンプ村』、『うめりあ』
平成14年10月5日・6日

8月23日 準備開始

「サマ-セミナー-って何をやるんですか？」実は私セミナー-の内容をよく知らないまま実行委員になってしまいました、ふざけた副青年部長です。

8月23日志賀青年部長を中心に準備が始まりました。まずセミナー-の翌日が運動会の人が多い中、県の最南端宇目町まで遠路はるばる何人の方が来てくれるだろうか？会場準備は？駐車場は？食事は？寝る所は？次々に出てくる問題に皆で考え、前回のセミナー-実行委員のアドバイスを受けながらほどよい緊張感に包まれながら準備を進めていきました。



10月5日 サマ-セミナー-開催日

準備は万全！天気も快晴！私は講師の美和さんを迎えに大分空港に行きました。ご褒美の高級寿司折につられてですが、飛行機は10分遅れの10時40分に到着、軽く挨拶を済ませ空港から出ると美和さんは「九州は暑いですね-これなら10月でもサマ-セミナー-でもいいですね。」などと冗談を言いながら車に乗り込む。講演まで時間がない！時速？キロで高速道路を疾走し米良ICで国道に下り心配してた犬飼や三重の渋滞もなく12時15分宇目に到着、移動時間約1時間半その間車内では、話が尽きる事はなく話題の豊富さに、さすがは日本全国を講演してる方だな-と感心させられました。尚会話の内容は過激なため省略させていただきます。



講師 美和氏

さて本題のセミナー-の内容ですが、テーマに「考えよう、自らの未来、自らの手で」にあるとおり「CPDと専攻建築士制度について」です。その講演内容は、時折冗談を交えながらも熱いもので会場内の気温も上昇。美和さんはネクタイを外し、そして袖もまくり始めた。我々も汗がタラタラ流れ始めた。その時「エアコンが壊れました。」との声が場内に流れ、皆肩の力が抜ける。佐伯支部のスタッフが会場の窓を開けに飛び回る中、私は講演を聞き逃すまいと座ってました。すみません。



話が横にそれましたが、人間の生活に必要なものは衣食住で衣や食の世界では画一化が進みつつある中、我々の職域、住の世界でもそれは同じであり画一化が進んでいるのは否めない。そんな中我々建築士は、専門性のアピ-ルをする事が大事で、そのために自己研鑽に励みCPD単位を取得して専攻建築士としての資格を得ることにより他社との差別化を図る。CPDの事、専攻建築士の事、これから皆で考えていかなければなりませんし、またこれが自画自賛とならないように進めていかなければならない。以上がこの講義における私なりの考察です。そして美和さんは、「我々と

同じ国家資格者の団体である医師会や弁護士会は国の政策について意見を述べてきているが、建築士会はどうだろうか？国家資格者の団体としては最大級の規模をもつ建築士会は、刀に例えるならよく斬れる名刀であり、これをもっと活用しなければならない。」とも語っていました。ただ日々の仕事に追われているだけの私には、非常に考えさせられる内容でした。

青年部副部長 河合 竜二



サマーセミナーin佐伯のメイン交流会はウメリアのレストランにて行われました。志賀青年部長と共に何れも一緒に下見、打合せに行き、地元の色を出した料理を考えていただき、当日も参加された皆様に満喫していただけたものと思います。しかしながら、スタッフみんなで完璧を目指したつもりで参加者の皆様の入場を待ちましたがテーブルが足りない、醤油が足りない等、スタッフは大慌てで調達に走り回っていました。(スママセン！)

当士会の竹津くんの司会進行、井上支部長の開会あいさつで交流会スタートし、乾杯の後歓談タイムにてより交流を深め、ゲームタイムには当士会事務局小野さんの佐賀関のリベンジでもある二人羽織をお楽しみ頂き、そして、橋のライトアップを見ていただきつつ、企画倒れになったライトアップに浮び上がる志賀青年部長の密会不倫現場目撃の演出(参加者の方は気が付いてなかったかも)恒例の井上支部長による弾き語り(カラオケ?)そして次期開催の中津支部のあいさつとなんとか最後までたどり着け終わったときには、滲んだ冷や汗とともに充実感につつまれました。スタッフの皆様御協力本当にありがとうございました。

佐伯支部 長田 孝治



初めて.....

その

サマ - セミナ - って何？初めての参加が主催者側となり、他のスタッフは手際よく準備に入り、自分も一緒にと思ったが、なかなか大変でした。役割決めや買出し下見など、今までのスタッフの方々の苦勞が今回のセミナ - で分かりました。僕は司会という大役を任せられ、上手くできなかったが、この建築士会に入らなければ体験できない事をたくさん体験でき、勉強になりました。これからも積極的に参加していきたいです。

佐伯支部 竹津 昌洋



その

私にとって今回のサマ - セミナ - は初めての主催者側での参加という事で、とてもいい経験になりました。数週間前からの打ち合わせ、パンフレットの作成、現地調査、買出しなどなど...。書ききれないぐらいたくさんの事を皆が分担し、協力しあい無事？(当日はハプニングもありましたが...)サマ - セミナ - が終わり、日曜日の最後の掃除も終わった時は本当にホッとしました。次回からは主催者側の大変さを知った分、参加姿勢が変わるかも!?

佐伯支部 富松 智佐美



その 引継ぎ

今回のサマ - セミナーは、次回が中津の担当ということで、運営の仕方などを見学する目的もあり、支部長以下17名という大所帯で参加させて頂きました。まず、スタッフの皆さん方の抜かりのないきびきびした動きに感心しましたし、懇親会の豪華な料理にはびっくりしました。そして何よりも、美和健一郎氏の講演がすばらしく、これだけでも来た甲斐があったと思います。

また、宿泊したログケビンとその周辺のロケーションが抜群に良く、日ごろの疲れを癒し心身ともにリフレッシュできて、とても充実したサマ - セミナーでした。最後に、佐伯支部の皆さん方、お疲れ様でした。そして、有難うございました。

来年は中津で開催されます。佐伯支部さんを見習って皆さん方に満足していただけるような企画を練りたいと思いますので、どうぞご期待ください。

中津支部 青年部長 長谷川 詳





二人羽織ゲーム（佐賀関支部：渡辺 豊基）



二人羽織ゲーム（佐伯支部：志賀 智昭）

その 終わりに

まずは運動会行事と重なった中で、多くの参加者を集めて頂いた各支部の青年部長他関係者に感謝いたします。

開催日の変更に伴い講演者を新たに探すのに大変苦労しましたが、結果的には美和氏に承諾していただき大変意義のある講演を聴くことが出来たのではないかと感じています。

「CPDと専攻建築士」については、これからの建築士会の中心的な活動内容となると思います。このキーワードを見たら・聞いたら、必ず意識して情報を収集してください！自分が何をすべきなのか、建築士のこれからの在り方が見えてきます。

最後に一言...佐伯支部実行委員の皆さん！ありがとうございます！来年度は中津支部さんです。中津支部が一体となってセミナーが成功するように期待します。

佐伯支部青年部長 志賀 智昭

現存建築物調査及び特性の抽出

戸次本町とは...

大分市への南の出入りに位置する戸次は、古代より大野川沿いの交通の要衝として重視され、江戸時代には城下町と対置される在郷の中心として形成された日向街道筋の在町である。また、江戸時代末期から繁栄した頃の歴史的な街なみが残り、豊後南画の大家田能村竹田など多くの文人墨客が訪れ、地区固有の伝統的な文化が息づいているところ。



戸次本町通り



現存する歴史的建築物

既存歴史的建築物の調査...

街づくりは、道路空間の美化化に代表されるような公共施設の整備のみで成立するものではない。むしろ本町通り沿道に連担する伝統的建築物群の形成によるところが多いといえる。しかし、比較的新しい建物や、新築建築物も、歴史的景観に十分配慮してもらう必要がある。そのために修景基準を策定する必要が出てきた。具体的には大分市から「戸次本町街なみ景観形成計画」とりまとめの委託を受け、約30棟の伝統的建築物の調査を行った。

修景整備が始まった

大分市

戸次本町

～大分支部が街なみ

夏の暑い時期であったが、会員と大分大学福祉環境工学科の鈴木先生にも参画いただき、詳細な調査を行った。戸次本町地区に継承されてきた建築デザインの特徴を抽出し、それを修景基準として盛り込むことを目的にしており、その業務を地元の建築業務に携わる会員が行うことにも意義があると言える。

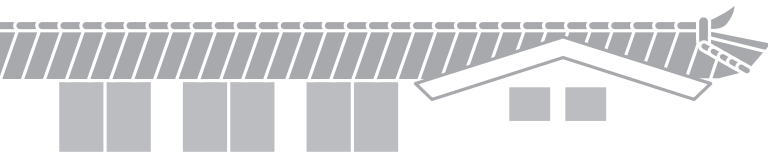


帆足杏雨旧宅

建物調査の結果...

1) 門構え・住戸の全般的特徴

本地区は大野川流域ということから、大雨の際には洪水が頻発していた。被害を少しでも小さくとどめるための対応として、主要な家屋は、通りに面して凝灰岩（吉野地区で産出する吉野の灰石）によって石段を築き、床の高さを嵩上げしていた。しかし現在は道路面のレベルが高くなり、埋没して往時の特徴が十分に伺えないが、残された2、3段が今でも数軒確認できる。2階建て入母屋形式が過半を占めている。これらは比較的大きな家屋は平入りに建っているが、棟数の上では妻入り形式が多くを占めている。2階建て切り妻屋根の家屋は平入りが中心で、一つの棟に複数の住戸を持つ長屋形式もある。特異なのは寄せ棟3階建て



まちづくり

景観形成計画を提案～



大分支部

のかつて料亭だった富士見楼があり、豊後富士を望めることから命名されたとのことである。

2) 外装の基本形式

外壁および破風・軒天などの外装の基本形式は2通りに大別できる。一つは、真壁造りの外壁と破風板・垂木の木部現しの一般的なものである。もう一つの形式は、いわゆる塗屋造りと呼ばれるもので、2階部分の外壁を大壁造りとし、破風と軒天にも漆喰塗りで塗り廻しにした形式である。帆足家ゆかりの家屋(本家・分家・帆足杏雨旧宅)の3棟と旧呉服店2棟の計5棟が、この塗屋造りである。この他、対象地区に点在する古い蔵は、文字通り大壁の蔵造りである。

3) 屋根の部位・形状などの特徴

棧瓦葺きの屋根の左右両側(場合によっては中央部)に「風切丸」と呼ばれる丸瓦を採用している家屋が過半であった。また、棟瓦の両端には、ラッパ状に突き出た「鳥伏間(トリブスマ)」という臼杵藩独特の形式が、さらに妻側端部(袖部分)の瓦を漆喰塗りで塗り固める「妻漆喰塗納め」が用いられている家屋や、棧瓦一般部にも漆喰押さえが施されているものも見られる。

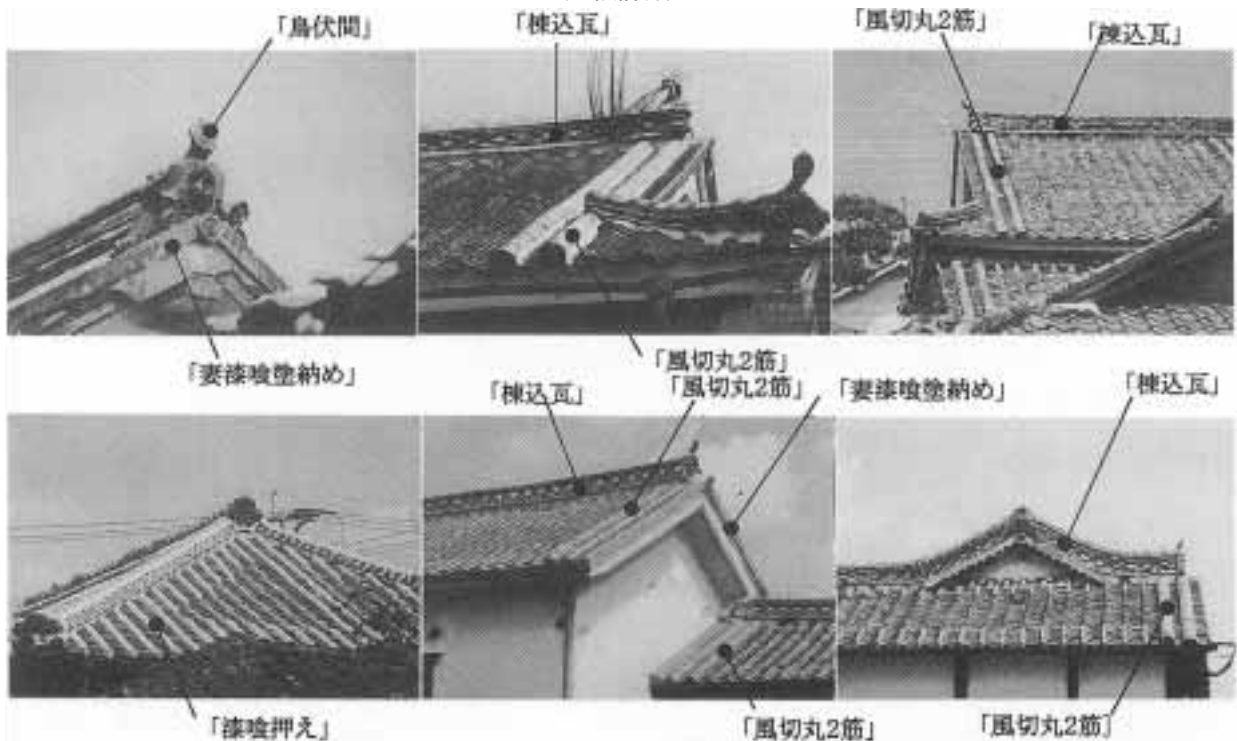
4) その他の意匠上の特徴

軒天部分には装飾を施された「化粧腕木」や、通りに沿って軒下に設けられた「幕掛け」が一部に見られている。屋外の商品の陳列台でもあり、また縁台としても使われていた「床几」は、現状認められないが、インタビューからはかつて見られたとのことで、他の地域にも共通の町屋独特の構成要素も備えていたことになる。

5) まとめ

戸次本町では、家屋の規模をはじめ門の構えや屋根の形式、入り勝手、外装などの特徴において、極めて多様であるということが出来る。これは、城下町や門前町などの広域的な都市部に形成されたある特定の性格を持った街なみではなく、在町という局所的に形成された商業集積地であり、この中にもヒエラルキーが存在し、また、複合した機能が求められたという背景に起因すると考えられる。

屋根詳細



修理基準・修景基準の提案

大分市から委託を受けた「戸次本町街なみ景観形成計画」は、その計画の内容が設計に具体的に反映できることを前提に提案を行った。その具体的内容がいわゆる修理基準・修景基準で、建築物等を新築・増築・改築・修繕などをする場合、地区にふさわしい外観（建築意匠）とするための基準である。修理と修景の意味は本地区においてはそれぞれ以下のとおりである。
 修理；昭和10年以前に建築された伝統的様式を有する建築物等の外観を復元又は保存する工事をいう。
 修景；上記以外の建築物等の外観を戸次本町の歴史的街なみに調和するように行う工事をいう。

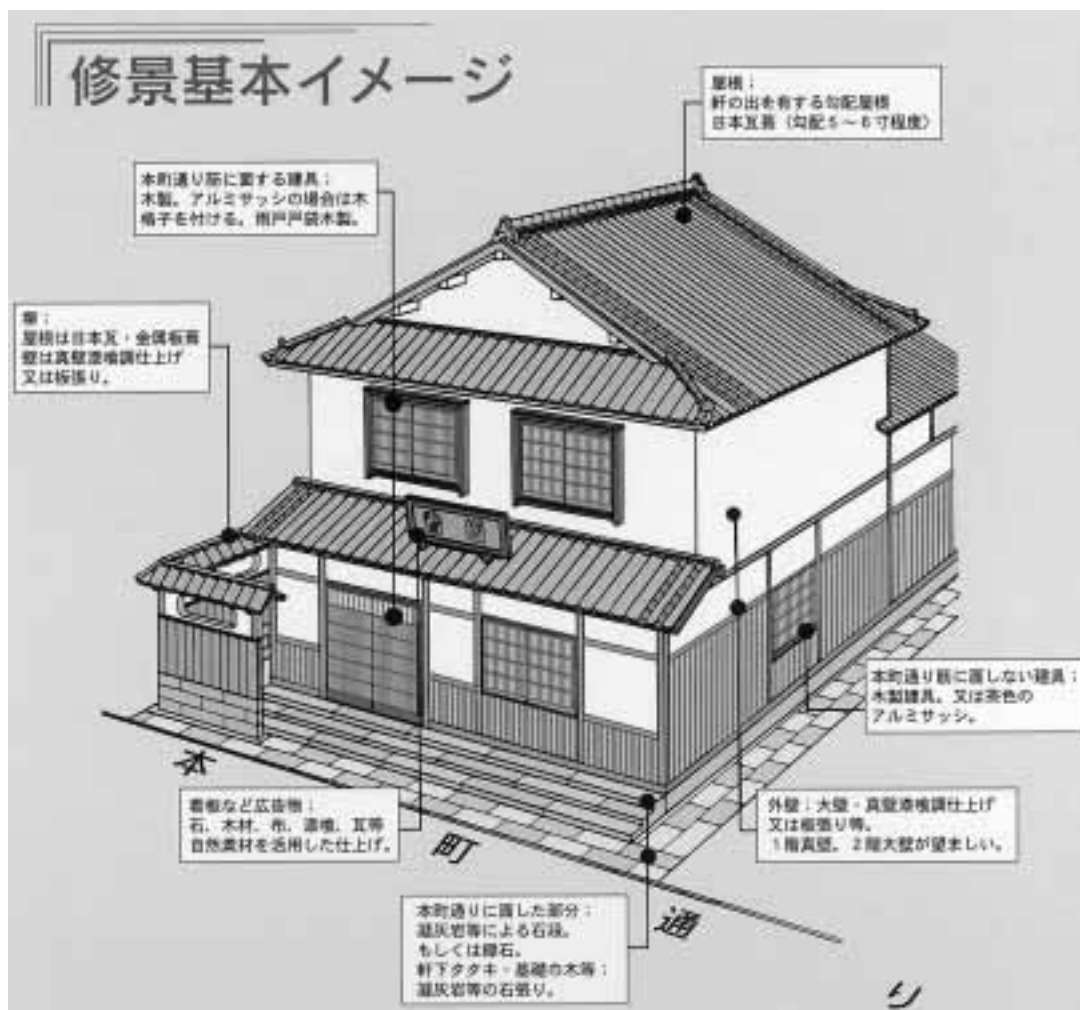
ここで、修理と修景に分けた理由は、修理対象建築物は当然伝統的様式を有しているため、従来の材料等により復元が基本であり、修景対象建築物は新しいけれども、伝統的様式をある程度反映はするが、工法や材料等は現在汎用しているものとなる、ということから、当然助成措置にも反映する必要がある、伝統的様式を備えた建築物のほうが、多額の経費を必要とすることとなるためである。

既に、本年度（14年度）から修景整備が始まっており、本基準を遵守した修理・改修及び新築が行われている。平成6年度本会で策定した「戸次本町街並み環境保全基本構想」から8年を経過して、住民も具体的に参加する街づくりが本格的にスタートしたわけである。これまで、多くの会員がこの地区の取り組みに参加、苦勞されたわけであるが、今後は住民の日常生活あるいは商業活動の中で戸次本町にふさわしい雰囲気（市）が自然に感じられ、それが地区の活性化（市の復活）を呼び、時の様々な社会状況に左右されないしっかりした街づくりに繋げていただきたい。また、本会員が地区内建築物の設計・施工という形で関わられることとなるだろうが、街づくりのコンセプトを十分認識されて、貴重な歴史的遺産を子供や未来に自信を持って継承できることを願うものである。

大分市からのお知らせ

地区内で建築物の建築や工作物の建設を行う場合は、都市計画法に基づく地区計画や助成要綱が定められていますので、事前に下記までご連絡下さい。
 （13ページ参照）

大分市 都市整備課 534 - 6111（内1842）



大分市指定有形文化財帆足本家酒造蔵
整備工事の概要

帆足本家は、安永5年より昭和47年まで酒造りを営んできました。

現在残っている建物は、江戸末期より明治にかけて建築され、平成7年12月26日に、帆足家第14代当主故帆足市太氏より大分市に寄贈されました。

また、日本の近代産業の一つである酒造業の工程がよくわかる建築物群として、平成11年3月23日に「大分市指定有形文化財」に指定されております。

昭和47年まで酒造りに使われてきたこの建物も、時間とともに老朽化が進み、朽ち果てかけていました。



工事前の酒造蔵

そこで大分市では、平成12年度より修復工事に取り掛かり、平成15年3月を完成予定としています。

当工事では、主に屋根及び外壁を一度全面撤去し、基礎補修、軸組み、小屋組みの部材の補修及び取り替え、建ち直しを行う修復工事となっております。

また、解体中に建築年代や正確な寸法、建物改修跡などを調査し、大分市教育委員会文化財課等の方針により、この建物は明治末期の姿に戻すこととなりました。

この建物は、8棟の建築物から出来ており、それぞれの建築年代も異なっております。棟札等で判明している建築年代は、明治13年、明治19年、明治42年ありますが、建物どうしの壁や柱の関係より、明治13年から明治42年の間、明治19年から明治42年の間に建築されたことなども判明しております。

また、明治43年に荒神様が移された事が裏書によりわかり、明治42年着工の建築物完成の後に、既存の建物を釜場として改築したことも判明しました。



解体、調査中の酒造蔵

工事は、木材の傷んだ部分のみを取替え、瓦は使用できる物を出来るだけ使い、土壁は新規の土に既存の土を混ぜて塗っています。

明治初期の建物は巨大な部材を使った和小屋組で、明治末の建物は木造の洋トラスとなっているのが特徴です。

現在、ほぼ工程どおりに工事が進んでいるようであり、文化財建築物としての再現が待たれます。また、戸次本町まちづくりの施設として、市民や地元住民の役立つ施設としての有効利用が望まれるところです。



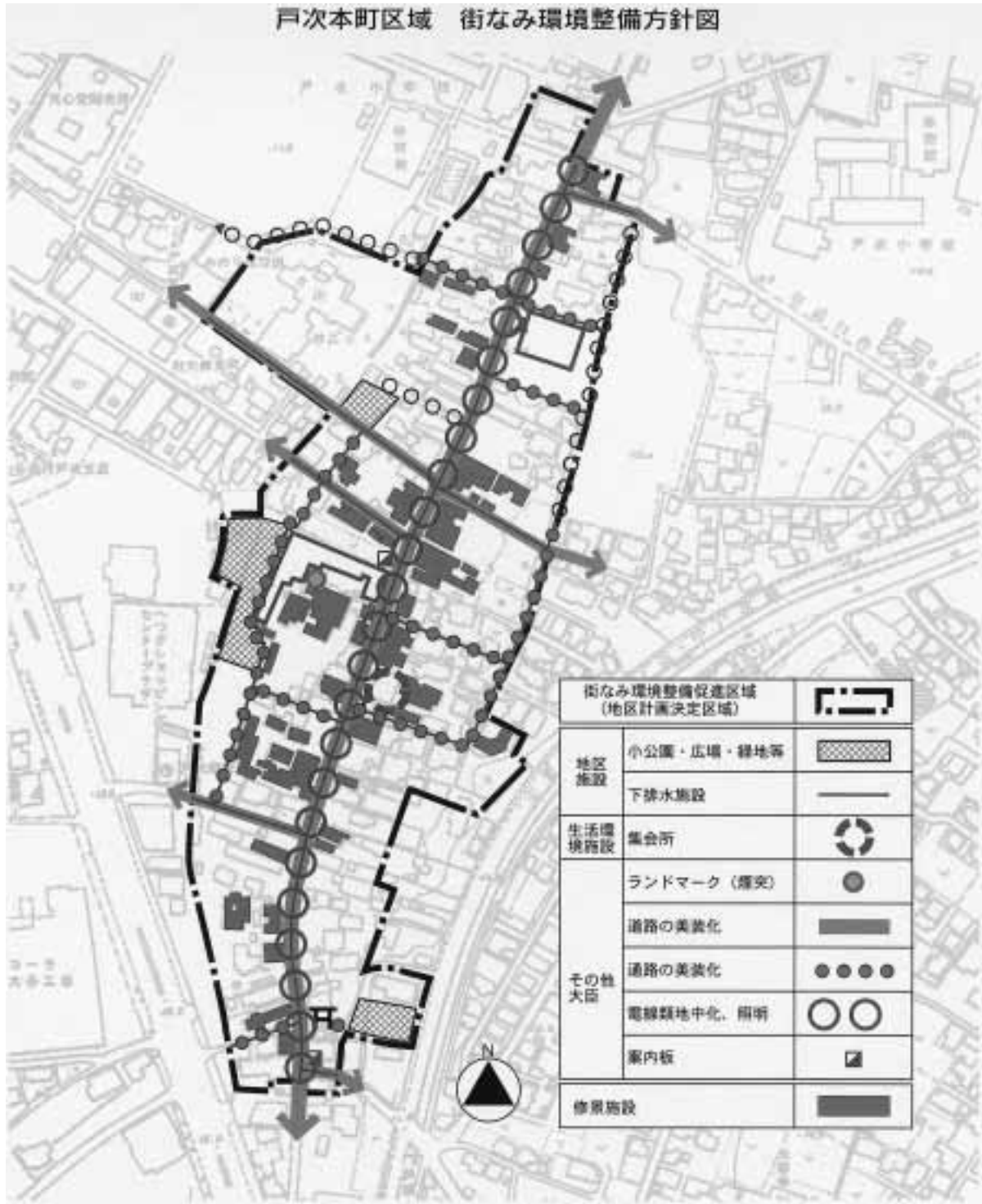
ほぼ外観が完成した酒造蔵

建物概要

所在地	大分市大字中戸次
構造	木造2階建瓦葺 土蔵造り
規模	建築面積 931.02㎡
	延床面積 1,447.43㎡

戸次本町街づくり推進事業

(大分市発行「補助金交付要綱のあらまし」からの抜粋：右ページ共)



事業の概要...

地区には、江戸時代末期から戦前にかけて建てられた貴重な建築物が現存し、今も活用されています。したがって、今日まで受け継がれてきた文化の継承と歴史的な街なみの保全を通して、かつて栄えた戸次本町の再生と市のにぎわいの復活、そして住環境の整備を目指しています。

また、平成7年度から戸次本町街づくり推進協議会が結成され、まちづくりルールの検討などに取り組み、平成12年には戸次本町まちづくり協定の締結が行われ、13年8月29日に大分市の承認を得ています。これに先立ち、同年4月26日には都市計画法に基づく地区計画が決定され、6月11日には戸次本町区域街なみ環境整備方針が国土交通大臣の承認を受けました。

「戸次本町街なみ環境整備事業補助金交付要綱」の概要

1. 目的

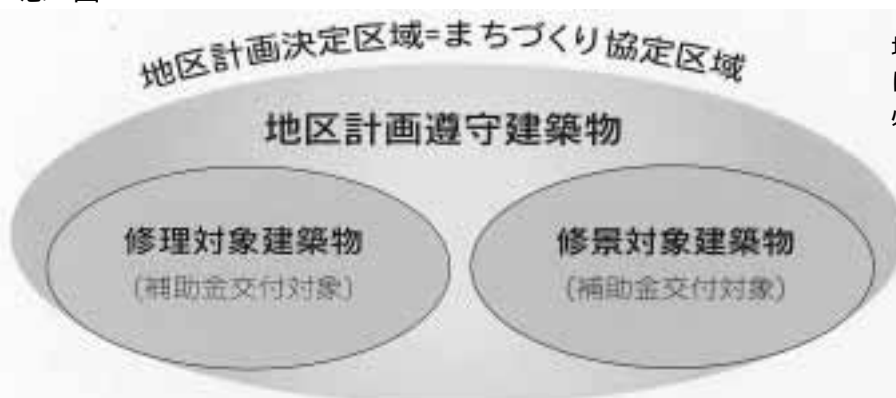
国土交通省住宅局所管「街なみ環境整備事業制度要綱」に基づく事業の施行に伴い、住宅等の修理又は修景を行う者に対して、予算の範囲内でその経費の一部を補助することにより、戸次本町地区における歴史的街なみの景観形成を図るもの。

2. 補助の条件

次の全ての条件を満たす住宅等が対象。

- (1) 戸次本町まちづくり協定区域内にあり、協定を締結している（若しくはされる）方。
- (2) 大分市が定めた、修理基準又は修景基準に適合する工事を行う。

3. 概念図



地区内の建築物は、補助の有無に係わらず地区計画を遵守する必要があります。





皆さんの中にも経験した方がいると思いますが、データ変換をする場合、完璧に変換をしようとするの大変な労力を要します。

データ変換のポイントは「完璧な変換は望まず、作業効率をアップさせる」と考えるべきではないでしょうか。今回は、データ変換時に起こりうるトラブルを、出来るだけ少なくするための方法についてお話しします。

データをDXFファイル等に変換する場合、次のようなトラブルに遭遇することがあります。

1. データがレイヤー間を移動する。
2. 文字フォントが変わる。
3. 文字サイズが変わる。
4. 文字位置が変わる。
5. 線種が変わる。
6. 線色が変わる。

異なるCAD間でデータを交換する場合の注意

前回のデータ変換の結果を基にして、異なるCADソフト間でのDXFを介してデータ交換を行う場合の留意点を記述します。

1. 文字データに関すること

(1) 書体・フォント情報

DXFでは、原則として書体やフォント情報は伝えられません。但し、JISコードに対応したCADソフト間ではDXFを介してフォントデータの伝達ができます。

(2) 文字サイズ

DXFでは、文字サイズを高さのデータと横の倍率で伝達します。従って、文字サイズの縦横の倍率設定ができないCADソフトでは、倍率がキャンセルされて縦サイズを基準とした正方形の文字となります。

(3) 文字間隔

DXFには文字間隔の項目はありませんのでJWWでの文字間隔の設定は「0」としておきます。

(4) 文字位置

DXFでは、文字の配置を左・中・右、及び上・中・下の合わせて9ポイントあります。

データ交換をする場合は作成側のCADソフトで考慮する必要があります。

(5) 均等割付

JWWでは文字列の末尾に中点(・)を使用することにより均等割付をすることができますが、他のCADソフトにはその機能がありません。データ変換を行う場合は均等割付を使用しないようにします。

(6) 特殊文字・外字

特殊文字(機種依存文字)とは、元々はNEC-PC98シリーズの漢字コードで使用されている特殊文字のことです。

また、外字とは標準搭載されておらず、ユーザーがその字体を作成して登録した文字です。

基本的には、特殊文字や外字は変換できないと認識しておきましょう。

2. 線データに関すること

(1) 使用線種

使用する線種は、線種の少ない方のCADソフトに合わせる必要があります。DXFを介する場合、下表の資料を参考にしてください

参考：DXFで標準設定されている線種

CONTINUOUS	: 実線
DOT	: 点線
DASHED	: 破線
CENTER/DASHDOT	: 一点鎖線
DEVIDE/HANTPM	: 二点鎖線
HIDDEN	: 補助線(陰線)

(2) 手書き線・特殊な線種

DXFでは、手書き線等の特殊な線は変換されませんので使用しないようにしましょう。

(3) 補助線(印刷されない線)

DXFには補助線の項目がありますが、うまく変換されないことがあります。出来れば使用しないか、

必要な場合は個別のレイヤーに分けておく和良好的でしょう。

3. 色データに関すること

(1) DXFには線の太さの項目はない。

DXFには色の項目がありますので、線の太さを設定する場合、色データを利用して受け側のCADソフトで設定をすると良いでしょう。

参考：DXFで標準設定されている色番号

1	赤 (Red)
2	黄 (Yellow)
3	緑 (Green)
4	水色 (Cyan)
5	青 (Blue)
6	紫 (Magenta)
7	白 (White)

4. グループ図形・寸法図形に関すること

(1) グループ図形

グループ図形概念を持ったCADソフト間では変換は可能ですが、その場合、お互いのフォーマットが一致していなければなりません。従って、グループ図形は完全には変換されないと考え、必要な場合は個別のレイヤーに分けておき、受け側のCADソフトで処理すると良いでしょう。

(2) 寸法線・寸法図形

寸法線は完全に交換されないことが多いので、一般の線データとして扱うように考えていた方が無難です。

寸法線を押さえる点、丸、矢印等も交換がうまく行かない要素です。

5. ハッチングに関すること

(1) ハッチング

DXFはハッチングという概念を持っていません。ハッチングが必要な場合は、個別のレイヤーに分けておき、受け側のCADソフトで処理すると良いでしょう。

6. 縮尺に関すること

(1) DXFにはスケールがありません。

従ってレイヤーごとに縮尺を変えることはできません。

JWWではレイヤーグループごとに縮尺を変えることができます。しかしDXF形式で保存する場合、データは先頭レイヤーから順次埋められるため、レイヤー間をデータが移動しますので、1枚の図面には異なる縮尺の図面を混在させないようにします。

(2) DXF形式には長さの単位はありません。

DXFでは長さに関してメートル・尺・インチ等の単位は全く関係ありません

7. レイヤーに関すること

(1) JWWのレイヤーグループは使用しない

JWWには0～9、A～Fまで16のレイヤーグループがありますが、DXF形式や他のソフトではグループ分けがありません。従って、異なるCAD間でデータの交換をする場合、JWWのグループ分けは使用しないようにします。

(2) 使用レイヤーはできるだけ少なくする

JWWでは16グループ×16レイヤー=256レイヤーのレイヤーを持っており、また、他のソフトでもグループ分けはありませんが、256のレイヤーがあります。データ交換をする場合に使用するレイヤーはできるだけ少なく、できれば16以下にします。

(3) レイヤー名

DXF形式の場合、レイヤー名には全角文字と半角カタカナ文字は基本的に使用できません。レイヤー名は半角英数字で設定します。

8. ファイルに関すること

(1) 一つのファイルに1枚の図面を保存する

CADで図面を書く場合、レイヤーを切替をすることにより一つのファイルに幾つもの図面を書くことができます。しかし、データ交換をする場合、1枚の図面を一つのファイルで保存しましょう。

(2) ファイル名は英数字で設定する

ファイルを保存する場合、ファイル名は半角英数字にて保存するようにしましょう。

Windows95以降、ロングネームの使用が可能となりましたが、データ交換をする場合、基本的には英数字8文字以下としましょう。

次回に続く.....次回は最終回です。

舌検隊Ⅲ

第5回

伊勢の巻

大支部 宮崎 敏信

再開5回目となった今回は、諸般の事情で「建築士会全国大会」参加で、三重県伊勢市となった。

10月16日、別府国際観光港を夕刻フェリーで出発。早速船内のレストランで“晩酌タイム”となる。当初、酒の肴が有るか心配したが結構売られており安心？する。バイキング式に自分の好きな肴を取り、最後にビールのジョッキをもらい計算する仕組みだ。先払いなので安心して飲める。気の合う会員同士で楽しく飲めた。また、初めて会う会員さんもいたが直ぐに気が合う。Y山会員が焼酎を持参しており美味しく頂く。彼の娘さんも輪に加わり一緒に飲む。2時間あまり飲みいい気分になる。船室は一等で2段ベッドと小部屋があり快適だ。テーブルもついており残った焼酎を飲む。



17日、今日も快晴だ。定刻に大阪南港に着く貸し切りバスが待っている。大型バスに12名でゆっくり座れた。高速道を一気に伊勢市へ。ベテランガイドさんとT島会員のやり取りで退屈しなかった。約4時間で伊勢市に到着。時間に余裕が出来、急遽、二見浦“夫婦岩”を見物する。伊勢神宮前の「おかげ横町」の岩戸屋で昼食を取る。弁当でまあまあの味だった。神宮(内宮 外宮)参拝しホテルへ。勢田川沿いをジョギングシタ食となる。

ホテル近辺に居酒屋的な店が無く、しかたなく近くのパールピアホテル1階の“イタリアンレストラン”に入る。広い店内に我々大支部組十数人だけのようなだった。メニューをもらうが何を注文してよいか分からない。やむなく“セットメニュー”とする。新人の添乗員さんも一緒に食事する。

とりあえず、生ビールで乾杯。大きな皿にチョッピリの料理が出てくる。味はまあまあであった。ワインに合いそうな料理で早速赤ワインとする。やはり、日本風の居酒屋が我々には向いている。元気のいい組は夜の街を彷徨ったらしい。



18日、今日も快晴だ。斎宮歴史博物館を見学。その後松阪へ。古い町並みが残っている。“商人の館”等見学し、昼食会場割烹旅館「八千代」へ。立派な構えの旅館だったが、弁当の味は、いまいちであった。夜の“松阪牛”を期待する。



全国大会の会場「県立サンアリーナ」へ。全国各地より会員が大勢参集している。指定の大分県席に座る。50周年の記念大会だが、空席も目立ち“曲がり角”に来ている感じがする。大会終了後、一旦ホテルに帰館。シャワーを浴びてお目当ての夕食会場へバスで向かう。



外は暗くなりいい雰囲気となる。会場の「力也」へ。3人席のセットがされており、松坂牛肉が皿に盛られている。霜降りの立派な肉である。仲居さんが調理してくれる。砂糖と醤油だけの味付けだ。ビールを飲むのもそこに煮立った肉を頬張る。流石に本場である。美味しくアツと言う間に無くなってしまう。5,000円のセットらしいが一人3~4切れで、全く腹の足しにならない。直ぐに再注文。焼酎に替えるがこれも直ぐに無くなってしまう。しかも、“買い置きも無い”でガックリ来る。最後にごはんを頂く。少し期待外れの夕食であった。期待が大きかった反動？だろう。



最終日の19日、さすがの天気も続かず小雨になる。でも傘は不要で助かる。関宿の古い宿場町を見学する。古い旅籠が建ち並びなかなか風情がある。伊賀市忍者屋敷等を見物した後、当地での最後の食事となる昼食会場の“伊賀路”へ。

「とろろ芋定食」であったがすごく美味しく満足する。T島氏は、これに「すき焼き定食」も注文したが案の定？食べ切れずじまだった。



天気にも恵まれ、ユツタリとしたバス旅行で食事もまあまあであり、“満足”の舌検であった。今回は、“舌検隊番外編”としてお茶を濁した感じだが、次回は何とか頑張りたい。





個人的図書紹介

わたしのアラタ・イソザキ
vol.1

臼杵支部 虚無院

プロローグ

私は、何で出来ているか、私は、手塚治虫とビートルズ、そして磯崎 新のチョッピリとから出来ている。そして納りの悪い身体と鬱は装身具として。

平均寿命の半ばを過ぎ、既に晩年を迎えた私は、人生に彩りを添えてくれたそれらのものに感謝を込めてもう一度、振り返ってみようという気分になってしまったのです。

「かつて某大学には、教えようとしもない助教授がいて、学ぼうとしもない学生がいた。教えようとしもない助教授は、教えようとしもない事もやめ、紐育へ流れて行ったと、風の便りに聞いている。いや、ただ一度だけ彼は、如何にすれば巨匠たり得るかって、語らなかつただろうか。そうだ、何時の頃からか、彼は、自らの言葉を実践し始めたのだ。黒縁の学生メガネを外し、頭髮に反比例した豊かな顎髭を蓄え、少々くたびれた皮のジャケットを着て、勿論ノーネクタイで、あの60年代名残のしかつめらしいフォームギヴァースタイルを整えた。でも、鳶色の瞳の少女漫画チックな星の輝きは、彼の童顔を少しも隠そうとはしなかつた。そして今、彼は、ダークホースに申し分のない位置を生かすため、記号全盛の時代に意味の復権を賭けて、その牙を研いでいるのか。思わせぶりの彼は、思わせぶりの沈黙を守り、書店では、思わせぶりの奇書(『建築の三つの魂』(工藤国雄著 井上書院 1973年10月15日 第一版発行))までが返品もされずに思わせぶりに並んでいる。」



いきなりですが、これは、「工藤国雄氏は僕の先生だったわけではない」という題の投稿文なのです。今を去ること18年前、SDという名の建築月刊誌があり、竹山 聖氏と隈 研吾氏が交代で評者となって宿題の回答を広く一般に求めるという『聖吾評』というコーナーが裏表紙にかなり近い位置に、まるで付け足しの付録のようにありました。ご披露したものは、「ウチのガッコの名先生」という宿題(SD 1986年5月号)の回答文であります。評者は、竹山 聖で、なんと応募総数が4編で4編とも掲載されたという幸運に恵まれた時ものでした。何故、幸運なのかと申しますと、ご褒美にSDを1冊もらえるからでした。

ところでついでに、その時の竹山評をそのまま掲載してみましよう。

「虚無院君、君があゝの工藤国雄(1938年~)氏の教え子とは知らなんだ。その昔、パオロ・ソレリ(1919年~)氏が来日した時、2週間ほどつきっきりで案内してまわったことがあって、当時、工藤氏はひたすら健在、という感じの健在さを発揮させており、この3月(1986年)店を閉めてしまった渋谷の傘屋あたりで、黒川紀章氏の美人秘書相手に<セックス談義>なぞブツていたお姿が臉に焼きついている。米国に渡られたと聞いているが、お元気であろうか。」

ところがこの話には後日談がありまして、2001年の年末に私は、日本の、事もあろうに、ここ大分市で何年かぶりの再会を果たしたのです。ループル美術館の中庭にガラスのピラミッドを挿入した中国生まれのアメリカの指導的な建築家I.M.ペイ(1917年~)風の相貌にチェンジした先生は、水のグラスを片手にパーボンストレートで飲ませてくれました。先生曰く「これを飲むと頭蓋がパカッと開いてコミュニケーションがスムーズになる。」まったく薔薇の香りの心地よいこのウィスキーは、美味しかった。翌日から3日は床に伏せりましたが、何とも思い出深い楽しい再会でした。さらに驚く事には満州棄民の道産子先生、現在コロンビア大学の准教授であられるかつての師は、(有)クニオ・クドウ・アソシエイツという建築系の事務所を大分市内に開設しているのです。

とまあ余談はここまでとして、何故このようなエピソードを書いたのか、それには次の様な理由があるからなのです。

工藤国雄氏は、その昔近代建築中興の祖であるルイス・カーン(1901年~1974年)の事務所に約1年間(1970年5月1日から1971年7月24日まで)紛れ込んだのです。そしてその時の事を、『私のルイス・カーン』(工藤国雄著 鹿島出版会 第一刷 昭和50年2月5日)として出版されました。



この本には、テンプル・ベス・エル、ダッカのシャンドリア、スターン邸のサウス・エレベーションの物語、そしてメロン英国美術館の設計課程において、一社員としてルイス・カーンと真摯に格闘する迫真の場面が描かれています。

この手の設計事務所の内幕ものとしては、第32回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した『光の教会 安藤忠雄の現場』（平松 剛著 (株)建築資料研究社 2000年12月9日初版発行）が最近のものとしては、大変面白い。関西風ゼニと人情の建築物語で、安藤忠雄の建築に対する執念も凄いものを感じさせますが、『私のルイス・カーン』では、設計作業において、混沌の中から建築の可能性というわずかな光明を追い求めながら、幾十というスタディを重ね、何時終わるともしれない設計作業の中で、性も根も尽き果てた所の地平のさらにその向こうにルイス・カーンの意志が建築の設計図として形をなしていく、とてつもない課程が描かれています。それでいて、いや、それだからこそと言っていいのか、巨匠の事務所は、恒に金欠状態で、自転車操業、まるで我が国の設計事務所のように。かつて、建築系の地方公務員の某女子が「設計事務所って悲惨よ！」と宣った如く。

そして、クニオ（カーンの事務所では、彼はそう呼ばれていた）は、未払いの月給を直接、巨匠に掛け合い、500ドルを持って家族と共にヨーロッパへと旅立ったのでした。

ここで、再び余談ですが、前述の『光の教会 安藤忠雄の現場』を著わした平松剛氏は、1969年生まれ、早稲田大学理工学部建築学科卒業、同大学院修士課程修了後1994年から1998年まで木村俊彦構造設計事務所に勤務し、退所後フリーとなり、どういうルートからかこういう素晴らしい著書をものにしているのです。



また彼の先輩であるオフコースの小田和正の例もあります。古くは、天逝の天才詩人と謳われた昭和初期の代表的抒情詩人、立原道造（1914年～1939年）もそうですね。彼は、1937年に東京帝国大学工学部建築学科を卒業し、石本建築事務所に入社しております。設計事務所にお勤めの才能溢れる若い皆様、もし、建築に少しでも倦んだとしたら、こういう道も貴方の前には開けているのです。

ところで、私と磯崎新（1931年～）氏（先生とつけるのには、躊躇されるし、氏とつけるのにはおこがましいが）の間には、残念ながらその様な濃密な関係はありませんでした。一度だけ、保存運動の関係で昼食をご馳走して頂いた時、私は、2ヶ月間のノイローゼによる休職明けで、過敏性大腸炎がひどく、しかも大切な約束を忘れ食事（中華丼）をとった直後に呼び出され、怒濤のように話しまくる磯崎新氏を前にして、トイレに行く時をあぶら汗を隠しながら測っている始末でした。幸い、青木茂さんが話を引き取ったので、礼を失することなく用を済ませたのですが。

しかし、大分県医師会館（これは、残念ながら壊されてしまいました）大分県立大分図書館（現アートプラザ）福岡相互銀行大分支店（現福岡シティ銀行大分支店）などの建設から、竣工へ、そして建ち上がった異物が周囲の環境へ次第に馴染んでいく時間と空間の中に、生活圏を同じくする私は、それらの建物と絆とでも呼んでよいのかもしれない深い関係を一方的に結んでしまったのです。なんとなく心情的に有り様が似てないこともないということで、二番煎じの題を付けてしまったと、こういう次第なのです。何と長い前置か！

（つづく）

わたしの建築 MY WORK

建物名称 青の洞門休憩所
建築場所 下毛郡本耶馬溪町大字樋田
建築主 本耶馬溪町
設計者 H I R O建築設計工房 中尾 忠廣
施工者 株式会社 永田建設
構造・面積 木造平屋建て
用途等 休憩所・公衆トイレ及び売店
 休憩所及び売店：32.77 m²
 休憩所及び通路：23.36 m²
 公衆トイレ：22.87 m²



敷地は、名所「青の洞門」の中津側の入り口のすぐ横にあり、道路に沿った細長い形状で、前面道路の向こう側には山国川が流れる耶馬溪らしい風景がひろがっています。

敷地を見に行ったときに入った「青の洞門」の手彫りの岩肌の力強さ（素材の力）に感動し、また、既存の建物の脇に大きなセンダンの木があり、そのやさしい木漏れ日が印象的でした。そんな敷地の印象をコンセプトにしてこの建物を計画しました。

道路に沿った平行な軸を考えその軸上に通路を兼ねた休憩所を配置し、休憩所への動線がスムーズになるようにし、延長線上に「青の洞門」が望める様にしました。

敷地は400程度の高低差がありスロープを設けると同時に階段をつくり段差を利用してそこへ杉板のベンチを設え、それを車椅子の輪留めをかねるようにし、手すりなどを極力なくして、開放感をだし、山国川の眺望を確保しました。それに伴い構造的には道路側には壁を造りたくなかったので、ひとつの解としてホームコネクタを使い部分的にラーメン構造にして開放的な空間を造りました。

使用材料はシンプルに杉とコンクリートを使い、仕上げはせずにそのまま使い、素材の力をできるだけ出すようにしました。テクスチャーが単調にならないように杉板は目透かし張りとし、日差しと風がすり抜けるようにして、雨など入っては困る箇所は乳白色の波板をはさみ込み対処しました。



建物名称 日の出町3丁目通り
建築場所 中津市日出町3丁目
建築主 本耶馬溪町
設計者 DAN一級建築士事務所

中津市は、美しい耶馬溪を背に、山国川の清流がそそぎ、明るい周防灘の潮騒が聞こえる城下町です。日の出町商店街は中心市街地にあり、この商店街の景観を検討するにあたり、市全体のまちづくりと整合性をはかりながら、新しい歴史と文化を創り、人があつまる生活感のある商店街を目指しました。



基本事項

- ・古いアーケードの撤去
- ・南側店舗を撤去し、北側に移転集約
- ・北側店舗景観統一
- ・JR高架下の駐車場整備

景観デザイン

- 統一性
 - ・中津城下町の導入口（島田口）という環境を生かす
 - ・門前商店街としてのイメージ
 - ・モダン和風をコンセプトに色調、基本ディティールの共通化

- 個性
 - ・それぞれの店種に応じたフレキシブルなデザイン
 - ・残置建物の性能強化、及び個々の個性表現の向上
 - ・新築建物と改築建物の調和

景観構成

- ・1階部分は各店舗の個性を生かすと共に、建具枠色の統一
- ・木と青銅製の軒庇、紺色のオーニングにより連続性を強調
- ・2、3階部分に木製格子による、和のデザイン
- ・化粧シート材によるシンプルかつモダン和風の提案



わたしの建築 MY WORK

建物名称 老松コミュニティセンター
建築場所 日田郡大山町大字西大山
建築主 大山町
設計者 アス力建築総合研究所 檜原 浩郎
施工者 (株)中野組
構造・面積 S造 + 木造・581.83 m²
用途等 集会所
竣工 平成14年11月
設計について

外観は隣接する老松神社の境内の雰囲気に合わせて民家風で、黒と白のモノトーンとし、落ち着いた雰囲気とした。神社の催し物などで利用出来る様、軒下空間を深くし、神社、テラス、集会室の一体化を図った。

内部は地場の木材をふんだんに使い、集会室は小屋裏を見せ、開放感があるようにした。



編集委員会 からのお願い

編集委員会では、あなたの建築作品、建築模型、パース等を「MY WORK」として募集しております。

自信作、問題作、それなりの作、各支部の編集委員会まで、ふるって御応募してください。



第17回 豊の国木造建築賞



安心院町 古荘医院

最優秀賞



西胤設計工房

作品のポイント（安心院町・古荘医院）

安心院町の中心部に位置し、東側に住宅、道路を隔てた南側には学校と、のどかな雰囲気のある場所にある。医療施設だが、高齢者の多い診療所としてなじみ安さを優先した建物で、バス停の雨宿り、北側店舗への買物に便利のように屋根付きの外部道路が設けてある。内部はバリアフリー、温水式床暖房を使用し、杉板張り無塗装の人体・環境に優しい素材を使用している。患者に対する優しさが、至るところに滲み出ている心温まる建物である。



白杵市ポルト蔵

優秀賞



白杵市長屋門

白杵市都市デザイン課
現代建設(株)

作品のポイント（白杵市・長屋門）

可児醤油の工場跡地にふれあい情報センター・まちなか交流館等の1つとして、明治16年建設の穀物資材倉庫を「ポルト蔵」(カフェ)として再生し、稲葉氏と同族の稲葉家家老長屋門を茶房「長屋門」として再生している。官民一体となって景観に配慮し、市民や白杵の町並み散策をされる方々の憩いの場として多くの方に利用されている。



大分市 竹本邸

archit design studio 一級建築士事務所

作品のポイント（大分市・竹本邸）

リビング・テラス・寝室に自然に集い、コミュニケーションがとれるゾーニングとなっている。1階は土間を設けることで、リビングとテラスが一体となり、また、吹き抜けにより更に開放感に満ちた空間である。2階は桐板張りの寝室をひとつ造り、子供の成長に合わせた経年変化に対応できるプランとなっている。自然素材を生かした住環境である。

優秀賞

第17回「豊の国木造建築賞」受賞者

賞	建築主	建物所在地	用途	設計者	施行者
最優秀賞	古莊 陽三	安心院町	診療所	西胤設計工房 西胤 稔 中津市大字上如水630-6 TEL 0979-32-5830	(有)もくせい工舎 (代)永家 正光 宇佐市大字別府923-1 TEL 0978-32-7892
優秀賞	竹本 涉	大分市	住宅	archit design studio 一級建築士事務所 渡辺 元也 大分市明野西2-33-39 TEL 097-551-2113	(株)ベネックホーム (代)高倉 宏一 大分市舞鶴町2丁目1番2号 TEL 097-537-8055
	白杵運送(株) 会長 足立 颯 白杵市長 後藤 國利	白杵市	店舗	現代建設(株) 板井登喜雄 白杵市大字市浜京泊り704番地の4 TEL 0972-62-3363 白杵市都市デザイン課 白杵市大字白杵72-1 TEL 0972-63-1111	現代建設(株) (代)佐藤 義治 白杵市大字市浜京泊り704番地の4 TEL 0972-62-3363
住宅金融公庫 南九州 支店長賞	(株)さとうベネック (代)佐藤 恭司	別府市	住宅	(有)エイチエム建築企画室 (代)阿南 政春 大分市南津留6-13スタジオZeroビル3F TEL 097-552-2028	(株)ベネックホーム (代)高倉 宏一 大分市舞鶴町2丁目1番2号 TEL 097-537-8055
協賛賞	渡辺 敬治 (大分県木造住宅事業協会)	真玉町	住宅	徳永敬之建築工房 徳永 敬之 福岡市中央区薬院4-8-28-1003 TEL 092-523-5792	(有)田中工務店 (代)田中 正夫 真玉町大字大岩屋498 TEL 0978-53-4942
	深見 伸明 (大分県建設組合連合会)	日出町	住宅	(有)浅野建設 浅野 健治 日出町大字藤原1727番地 TEL 0977-72-5960	(有)浅野建設 浅野松治郎 日出町大字藤原1727番地 TEL 0977-72-5960
	大分県地域づくり機構 大分県住宅供給公社 理事長 相良 浩 (大分県建設業協会)	大分市	住宅	(有)エイチエム建築企画室 (代)阿南 政春 大分市南津留6-13スタジオZeroビル3F TEL 097-552-2028	(株)ベネックホーム (代)高倉 宏一 大分市舞鶴町2丁目1番2号 TEL 097-537-8055
	佐藤 寿春 (大分県木造商業共同組合)	三重町	住宅	高野建設一級建築士事務所 高野幸雄 三重町大字赤嶺1922番地1 TEL 0974-22-6048	甲斐建築 甲斐 英治 三重町大字内田323番地1 TEL 0974-22-4085
	九重町長 坂本 和昭 (大分県職業能力開発協会)	九重町	住宅	和興設計一級建築士事務所 穴井和磨 九重町大字恵良952-6 TEL 09737-6-2458	(株)大東建設 (代)小田浩治 九重町町田 09737-8-8408 (株)安野技建 (代)安野文憲 九重町引治 09737-8-8207 (株)川野建設 (代)川野英樹 九重町野上 09737-7-6549 小倉建設(株) (代)永吉隆一 九重町町田 09737-8-8709 (株)梅木工務店 (代)梅木邦隆 九重町野上 09737-7-6951
	河野 満 河野 和義 (大分県建設合同労働組合)	玖珠町	住宅	(有)尾方設計 (代)尾方 秀則 玖珠町四日市804-3 TEL 09737-2-2662	(有)玖珠工務店 (代)河野 満 玖珠町大字戸畑 TEL 09737-2-1050
	院内町長 川野 哲也 (大分県木材協同組合連合会)	院内町	住宅	(株)松山設計 (代)松山 忠幸 中津市大字是則744-4 TEL 0979-32-0155	(株)川面建設 (代)川面 満夫 院内町大字香下 TEL 0978-42-5125
	永岩 康秀 (大分建築士会)	宇佐市	住宅	(有)高建築設計事務所 (代)高武彦 大分市大字賀来3452番地 TEL 097-549-5555	(株)江河工務店 (代)江河 俊優 宇佐市大字城井2006番地 TEL 0978-32-0254
	(有)和田酒屋 (代)和田 久継 (大分県森林組合連合会)	宇佐市	住宅	(株)江河工務店 (代)江河 俊優 宇佐市大字城井2006番地 TEL 0978-32-0254	(株)江河工務店 (代)江河 俊優 宇佐市大字城井2006番地 TEL 0978-32-0254
	山国町長 立石 欣丸 (大分県建築士事務所協会)	山国町	小学校	(株)山下設計九州支店 執行役員支社長 伊藤 敏幸 福岡市博多区博多駅前2丁目20-1大博多ビル TEL 092-411-6908	新成建設(株) (代)藤田 三吉 大分市羽屋279番地の1 TEL 097-545-7878
奨励賞	姫野 孝一 加藤 弘信	別府市	住宅	ワークブレインETO建築設計 事務所 衛藤 三志 別府市天満町8-15 TEL 0977-21-3616	(有)嶋川工務店 (代)嶋川智秀 別府市上人南町2組 TEL 0977-67-2002
	那賀 勝義	大分市	住宅	林住建(株) 谷原 茂 大分市中央町4丁目2番16号 TEL 097-537-1666	林住建(株) (代)高野 國臣 大分市中央町4丁目2番16号 TEL 097-537-1666
	藤原志津賀	白杵市	住宅	(有)足立建築事務所 (代)足立 信浩 白杵市江無田239-3 TEL 0972-63-3759	(有)足立建築事務所 (代)足立 信治 白杵市江無田239-3 TEL 0972-63-3759
	岡本 正人 岡本 秀昭	杵築市	店舗	(株)大分住宅研究室 (代)芳山 憲祐 大分市錦町3丁目8-1 TEL 097-532-1885	(株)高原建設 (代)高原勝太郎 杵築市大字中209番地 TEL 0978-62-4545
	大分県知事 平松 守彦	久住町	集会施設	遊建築設計事務所 大森 孝純 熊本市錦ヶ丘17-5 TEL 096-365-1624	(有)伊藤 (代)伊藤 公明 竹田市大字門田167番地 TEL 0974-63-1121

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



生年月日 昭和54年10月23日
勤務先 (株)セキ土建
趣味 ジョギング、ホームページ製作

将来の夢

玖珠で生まれ育った私が、見知らぬ地である佐賀関に就職して早3年。そんな時社長の誘いもあり、士会の行事に参加させていただきました。佐賀関支部は皆、明るく楽しい人ばかりで、たくさんの方と知り合いになる事ができ、不安も一気に吹き飛びました。

一昨年、無事二級の資格を取得することができ、現在一級建築士を取るべく奮闘中です。

それまでに資格に見合う実力を得られる様に日々努力していきたいと思います。

将来の夢は宇宙に家を建てることなのですが、途方も無い夢でしょうか？

まあ、夢はあくまで夢ですので(笑)

当面の目標は自分の家を設計することですね。



後藤 聖和 (佐賀関支部)



工藤 建治 (中津支部)

生年月日 昭和54年1月7日
趣味 中津木工株式会社
趣味 ドライブ

コメント

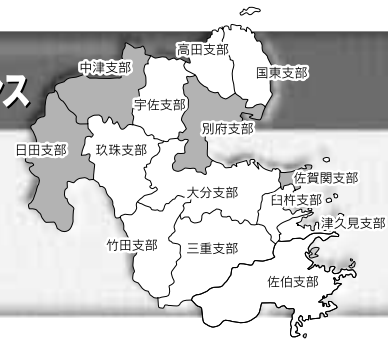
中学生の頃から夢見てた建築の世界に飛び込んで1年半。興味があった店舗内装・家具・建具の世界に触れて、建築の奥の深さを知り、建築物を見る視野が学生の頃に比べ、随分広がってきました。また、学生の頃持っていた理想がどれだけ無知なものだったか改めて実感させられました。しかし、無知を知れば逆に現実の可能性についても知ることが出来、可能性を現実にするために、やらなくてはいけない『建築に携わる一人間としての課題』をたくさん見つけることが出来ました。これからの理想は、『内装』『形態』『環境』と言ったような狭義の世界に囚われず、もっと広い意味での『建築』について考えていけたら...と思っています。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

会員紹介

(掲載については順不同です)



小山 秀輝 (別府支部)

生年月日 昭和52年12月23日生まれ

趣味 AV鑑賞、楽器演奏

将来の夢・プロフィール

今年度から別府市役所に入り、建築住宅課で主に市営住宅の修繕などに携わっています。入ってすぐのころは、出身が大分市で大学も県外だったため別府の道がわからず苦労しましたが、半年たって徐々に別府の地図が頭に入ってきているところです。と言ってもまだまだ他の面では何もわからない修業の身なのですが。

建築士の資格は、受験資格の経験年数がまだ足りないこともありまだ取得していませんが、これから勉強と経験を重ね、2年後に一発合格で取得できるようがんばりたいと思っています。

建築士会の活動は、これからいろいろと参加させていただきたいと思っています。わからないことだらけなので、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、御指導のほどよろしくお願ひいたします。

生年月日 昭和28年11月29日 (射手座)

勤務先 おれんち設計工房 2級建築士事務所

趣味 ヘラブナ釣り。しかしここ10年間していない。最近は、子供と近くの有田川で、はえなどを釣って気を紛らわしている。

仕事内容 主に住宅設計。他にもいろいろやれます。

建築の仕事に入った動機

Uターンで日田に帰ってきたが、前にしていた機械設計の仕事が無く、図面を書く仕事が好きだったので建築の設計をするようになった。

建築士会に入会するきっかけ

元青年部長よりしつこい勧誘があり、入会した。

建築士会に望むこと

みんなが、意欲的に参加できる様な会になってほしい。

将来の夢、これからしたいこと

隠居して仙人をめざし、好きな釣りをして、盆栽の手入れをするような生活がしたい。しかし、子供がまだ小さいので夢の実現はまだ先になりそうだ。

担当者より一言

建築の仕事バリバリこなす今の姿からは想像できませんが、電気(日田林工) 機械(車関係) 建築と渡り歩いた変わり種です。日田支部の活動ではいつもお世話になっています。とくに「隈町の調査」, 「豆田の調査」などでは、欠かすことの出来ない中心人物のひとりです。「日田天領祭」では、西国郡代着任行列の先頭で「奴振り」をしてました。ポスターにもでてましたので、見たことのある人もいられませんか。気さくな人なので見かけたときは気軽に話しかけてみてください。



平塚 英利 (日田支部)



情報コーナー

知っちゃんかえ?



建築概要

名称：マリーンパレス新水族館建設工事
 建設場所：大分市大字神崎字ウト3078番地-5地先
 建築主：株式会社マリーンパレス
 主要用途：水族館
 敷地面積：11,008.05㎡
 建築面積：7,580.91㎡
 延床面積：10,852.82㎡
 展示水量：約3,200 t
 構造：鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階
 工期：2002年4月～2004年3月
 設計：株式会社日建設計
 施工：マリーンパレス新水族館建設工事
 竹中・佐伯共同企業体

近年の水族館の大型化競争とは一線を隔し、やすらぎとふれあいをコンセプトとした次世代型的水族館を目指します。新水族館は目玉となる大回遊水槽、セイウチ、トド、アザラシの海獣ゾーン、大タッチプールゾーンを中心に構成されます。高崎山と別府湾を望む最高のロケーションを最大限に生かすために、建物高さを低くおさえ、海側屋上に海と山を望む「やすらぎとふれあいのオープンスペース」をつくります。2004年4月オープン予定。

(日建設計)

パッションinおおいた概要

本会場：別府ビーコンプラザ

第1分科会

「教育現場のIT利用と小中学校学習空間の変遷」

会場：別府市

第2分科会「安心院の歴史・環境・食文化」

会場：安心院町

第3分科会「臼杵の歴史とふれあい体験」

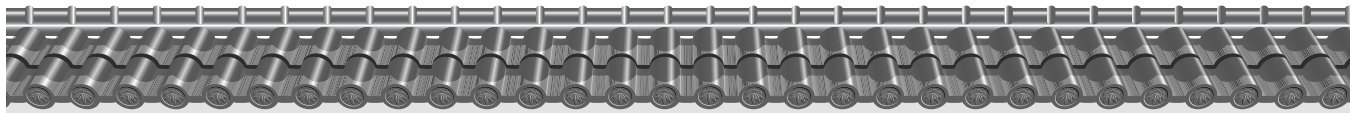
会場：臼杵市

第4分科会「地域実践活動と建築士会CPD」

会場：別府市



会報誌「建築士おおいた」は現在、県下各49ヶ所の図書館・公民館等に配布し、一般市民の方が目に触れる様になりました。そこで、建築士会活動以外の情報を広告掲載する場を今回試みました。～広い分野での情報をお寄せ下さい。
 (イベント、各種施設紹介、旧家、匠の技・建築特殊工法・観光スポット・秘湯など広い分野で)



シリーズ 登録文化財 No.9

久恒家住宅

名称：久恒家住宅正門	登録番号第44 - 0053号
久恒家住宅客間棟	登録番号第44 - 0054号
久恒家住宅奥座敷	登録番号第44 - 0055号
久恒家住宅居住棟	登録番号第44 - 0056号
久恒家住宅長屋門	登録番号第44 - 0057号
久恒家住宅東蔵	登録番号第44 - 0058号
久恒家住宅西蔵	登録番号第44 - 0059号
久恒家住宅米蔵	登録番号第44 - 0060号
久恒家住宅オンドル部屋	登録番号第44 - 0061号
久恒家住宅物置	登録番号第44 - 0062号
久恒家住宅給水塔	登録番号第44 - 0063号
久恒家住宅煙突	登録番号第44 - 0064号
久恒家住宅裏門	登録番号第44 - 0065号
久恒家住宅北塀	登録番号第44 - 0066号
久恒家住宅南塀	登録番号第44 - 0067号

所在地：大分県中津市大字上池永

建築年代：大正13年

登録：平成13年8月28日

(久恒家住宅オンドル部屋のみ昭和20年頃)

久恒家は炭鉱経営に成功し、後に貴族院議員となった久恒貞雄氏が建設した。久恒家屋敷は、ほぼ正方形の約1000坪の敷地に、居住棟・客間棟・奥座敷棟・オンドル部屋・米蔵棟・東蔵棟・西蔵棟・物置・正門・裏門・長屋門からなっており、各棟及び各部分が登録有形文化財建造物に指定されている。

建物の様式や工法、使用材料、仕上げなどはそれぞれ異なっており、1000坪という広大な敷地内は、引き締まった空間になっている。また各建物は現在も使用されており、当時の大工が持っていた施工技術の高さが伺える。



住宅給水塔
住宅東蔵



住宅物置



住宅煙突



住宅奥座敷



住宅煙突



環境と住まいフェスタ inおおいた

大分スポーツ公園内ビッグアイ西口ゲート前広場において、10月25日から27日まで開催されたこのイベントには、建築・設備等の各メーカーから数多くのブースが出されるとともに、「食の広場」やいろんなステージがあり一般の方々にも十分楽しめる3日間でした。その中で建築士会としては、折り紙建築教室と建築相談という内容で参加しました。私は25日の金曜日に折り紙建築教室を担当しましたので、ここではその辺を中心に報告させていただきます。

この日は開催初日という事もあり、どの程度の方が興味をもって士会のブースに寄ってくれるか心配でした。そこで客寄せとして大分支部の姫野青年部長と共に自ら作品づくりを行っている、平日にもかかわらず、授業の一環で会場を訪れていた工業高校や専門学校に通う建築士の卵たちが、製作の様子を覗き込んできました。こちらからの「時間があるんなら、やってみらんかえ！」のひと言に、数人が中に入ってきて、和やかな雰囲気のもと、士会が用意した題材を手に取り、自分なりのペースで1つ2つと作品づくりにチャレンジしていました。



学生の方は最初に簡単なものをひとつ作ってコツをつかむと、後はこちらが用意していた題材以上に難しいものを希望するパターンが多く、折り紙建築の魅力に取りつかれているようでした。

また、午後からは主婦の姿も見えはじめ、若い方から80歳にもなるおばあちゃんまでいろんな年齢層の方々が参加し、一枚のケント紙とカッターから作り出される立体的な作品に感動していました。

土日には休日という事もあり小学生以下のお子さんも多く訪れ慣れない手つきながらも士会員による指導のもと親御さんと共に楽しいひとときを過ごしていたようです。

通常、折り紙建築とはあまり出会うチャンスがないので、やったことのある人は少ないようですが、今回のような機会があれば、興味をもってくれる人も多いと思います。最近各支部でも小学生たちに折り紙建築の楽しさを教えているようですので、やったことのない方は一度チャレンジしてみてくださいはどうか。



また、建築相談では、事前に相談事についての資料を自分で用意してきている方や飛び込みでみえた方などに対してベテラン会員さんが、やさしく丁寧に相談に応じており、たいへん評判がよかったです。

この3日間で士会のブースには約100名もの人々が訪れ、会場にある多くのブースのなかでも、ひととき活気のある場所となっていました。この大きなイベントを通じて建築士会という団体を一般の方々にアピールできたのではないかと思います。

最後に開催期間中お手伝いされた士会員のみなさんたいへんお疲れさまでした。

(大分支部 足立 忠明)



楽学・建築探訪企画第1弾

小国・阿蘇・大分を無理やり1日で巡っちゃおう

『最近建物見に行ってるねえなー。』『デスクワークばかりでちょっと建物でも観にいきてーなー。』ということで、建物見学ツアーを企画しました。当初、阿蘇の草地畜産研究所畜舎を含む14の建物を見学する多少無理のある企画でしたが、K・M君の寝坊とお天道様がへそを曲げたこともあり、草地は次回に回すこととなりました。結果的に中身の濃い有意義な時間を過ごせたと思います。

日 程

10月19日(土)

8:00会館出発 13:00昼食(久住高原ビール村)

18:00会館帰着 各自解散

参加者

西胤稔・河野佑美・穂吉薫・岩本泰樹・長谷川詳
宇木晃・南宏治・松山忠幸・山村増治(順不同)

費用

1,500円(ガソリン代、高速料、保険料)

食事代各自負担

見学建物

1. 三郷小学校体育館
(黒川哲郎+デザインリーグ)
2. 杖立橋+杖立多目的ホール (新井清一)
3. 木魂館・北里バラン (桂英明+A.I.R)
4. 電力開発豊肥地熱事務所 (桂英明+A.I.R)
5. パラソルセンター (葉デザイン事務所)
6. 小国ドーム (葉デザイン事務所)
7. 小国中学校体育館 (木島安史)
8. 久住高原地ビール村
(アトリエ・モビル Team Zoo)
9. 緒方町立緒方中学校
(重村力+ Team Zoo いるか設計集団)
10. 三重町 町営住宅 (アルカイック)
11. 朝地町道の駅 (黒川哲郎+デザインリーグ)
12. 野津原町庁舎 (伊東豊雄建築設計事務所)
13. 大分県立看護科学大学



三郷小学校体育館



杖立多目的ホール(Pホール)



久住高原ビール村にて昼食

ナマの建築物を観ることは、雑誌の写真では得ることの出来ない存在感や、周辺との調和、実際の使われ方などを感じられ、これからの私たちの業務にも大いに役立つことを再認識しました。これからも時間を創って第2弾、第3弾と続けていきたいと思っています。また今回の見学ツアーの内容は、中津支部のホームページにて公開していますので、是非見に来てください。
<http://www6.ocn.ne.jp/~ken-kai/sikai/top/index.htm>

(中津支部 山村 増治)



第20回津久見

ふるさと振興祭

(完成までに2年間 KT2002号 登場)

2002年10月19日～20日雨天の中「ふるさと振興祭」が開催されました。今回で建築士会の出店は16回目になり、祭りの常連となっています。9月5日より44日間の準備に入り、2003年2月パッションin大分の分科会準備も兼ねての作業となりました。出展販売品は「自走式電動ホーバー・ガーデニング製品・多目的椅子」等を準備し、他に「工作コーナー・木製シーソー・流木椅子」と無料コーナーも設置し、建築士会を大いにアピール出来たと思います。



(出展販売品)

高速道路が開通して、初めての振興祭であり出店数も昨年より増えたそうです。セメント会社による、漆喰での鏝絵体験もあり、建築ブームを願っています。

初日は、OBSラジオの生中継で、チョット「建築士会」の紹介をして頂きました。

(聞いた方は一報を！
抽選でプレゼントを…)



初日の人出はボチボチでしたが、木工製品の売れ行きは絶好調！昨年からのお客さんが尋ねて来る状況で、午後には半数以上商品が売れて無くなり、終了日に片付けた商品はわずかでした。工作コーナーも、テントからはみ出るかの賑わいでした。小学生や親子の溜まり場に見える程でした。



(工作コーナー風景)

屋外のイベントとして用意した木製シーソーも会員の一員として小雨のなか子供と遊んでいました。



順番待ちのシーソー広場

そして、今回製作に力を入れた「自走式電動ホーバー」ですが、雨でホーバー広場の設営ができず一度テスト運転ただけで終わりました。



(パッションin大分・臼杵会場にて披露するKT2002号)

今回、活躍無く過ごしたホーバーなので少しばかり紹介をしたいと思います。

全長・全幅・全高=約1.5mと均等のとれたサイズ、基盤にコンパネ・ボディは発砲スチロールで形造っており、アルミ箔貼りのシルバー色。後部に自走用のファンを設置し、ハンドルにて左右の移動ができ、最大速度は約1~2kmと安全性を重視。重量は約30kg・最大積載重量は約100kgまで可能です。(親子2人乗車目安)底には3つのスカート(タイヤチューブ)を設置しエアーを送り込み浮上する仕組みです。



(スカート部写真)

内部構造は木製椅子(祭り販売品)の下にエアータンクを設置し、スカート部に送るエアー圧力調整をしています。骨組完了時に重心を確認しバランス良く浮上するテストが日々続きました。

飾り付けは軽量にする為苦悩したそうです。



(写真の乗車テストは製作担当の姫野氏です)



(KT2002号)

(初代KT号)

ここに、2002年振興祭に力を注いだ会員の姿が見えた事と、パッションin大分の為バージョンアップ製作が、完成した事を報告して説明を終わります。



(コメント)

今回も作業場に協力して頂いた「匠工房」(建具家具製作会社)にお礼申し上げます。また、午後7時からの深夜作業で、空腹と疲労、そして慣れない作業に取り組んだ会員の皆様、お疲れさまでした。



(津久見支部 濱野 一明)



今年も白壁のまち柳井と、土塀が続く長府をゆく

9月7日AM6時10分集合、竹田支部一行20名は山口県柳井市を目指す。中型のバスをチャーターし、経験豊富な知識・良識あふれるガイドさんに案内され大分空港経由で国東半島竹田津港へと向かう。竹田に住んでいると空港から北の国東の路はめったに走ることがなく車窓の景色は新鮮に見える。

干ばつと塩害によると聞いた樹木の枯れにはびっくりした。往復同じ道ではおもしろくないとの発想から、往路にはフェリーを選んだが2時間余りゆっくり横になることが出来、ひとねむりできた。山間地で暮らしていると船の旅もなかなかいいものだ。

徳山から国道18号を広島方面に走ること約1時間半、柳井市に着く。“るるぶ”で知った、柳井の観光グルメランチ『白壁海鮮丼』が少し遅い昼食となった。出発が早かったために全員腹ペコで、旨かったのかどうなのかよくわからないうちに昼食は終わった。正直言うと、少しもの足りなかったが¥1,200では仕方ないだろうと納得せざるを得なかった。



白壁ふれあい広場にバスを止め、白壁の町並みを散策する。古市・金屋地区には室町時代からの町割りがある。そのまま今日も生きており、約200mの街路に面した両側に妻入りで入母屋本瓦葺の江戸時代の商家の家並みが続く。藩政時代には岩国藩のお納戸と呼ばれ、産物を満載した大八車が往来し賑わった町筋らしい。町筋の建物の中で古いものには江戸中期以前のものである。そのほぼ中央に国指定の重要文化財・国森家住宅がある。この建物は全体を土蔵造とし、1階正面に“ぶちょう”と呼ばれる建具がある。この“ぶち

ょう”は3枚の栗材の板戸でできていて、上の1枚は日中は内側に跳ねて吊り上げ、その上に布団などを置いたらしい。下の2枚は柱に彫った溝に沿ってはずして全開にするが、夜間は全部を閉める。機能的で開放的な商家の店先の建具である。

さらにその前には1本引きの土戸があるが、火災のときにはこの土戸をはめて戸と戸の間に味噌を塗り込んで密閉し、累焼を防いだという。2階小屋裏の和小屋組みも見事なものであった。



この町筋には毎年8月上旬からお盆過ぎにかけてこの通りの軒下には金魚ちょうちんがつるされ、ほのかな灯りに照らし出された町並みはロマンチックな雰囲気にも包まれるという。小生もこの青森のねぶたをヒントに考案したといわれる柳井の郷土民芸品“金魚ちょうちん”と、柳井に居住していた国木田独歩が小説「置土産」の中で紹介したという“三角餅”(みかどもち)を本日のお土産として買った。

さて、我々一行の本日の宿泊地は多彩な歴史と味覚の町下関である。温泉と宴会が待っているのだ！約2時間の散策のあとのバスは中国自動車道を一気に西へと進む。歩き疲れたせいかもしれないとも暑かったせいかもしれない。目が覚めるとそこはもう関門海峡。そしてまもなく始まる宴会への想像(酒とふぐとお姉さん)で、頭の中はいっぱいである。下関マリンホテルの玄関の『大分県建築士会竹田支部御一行様』の看板が気持ちよく我々を迎えてくれた。

翌日は、関門海峡を往来する船を眺めながら朝から温泉につかり、バイキングの朝食で腹はいっぱいにし、9時出発となる。バスで5分も走るともう長府である。下関市の一角、国道9号から山手にかけて歴史を刻む武家屋敷や土塀が続き、城下町の風情を今に伝える長府。ここには長府毛利邸、長府庭園、功山寺など長府毛利家ゆかりの名所が数多い。



長府観光会館にバスを止め、忌宮（いみのみや）神社を経て乃木神社に参拝し、土堀の小路へと進む。古江小路の菅家長屋門あたりは電線地中埋設も整備され、土堀の続く小路の両側からのぞくもみじの小枝や塀の向こうの花木や草花はおそらく四季折々の様子を見せてくれるのだろうと思いを巡らし歩いていると功山寺前へ出た。功山寺は鎌倉時代の創建で唐様建築の仏殿はわが国最古の禅寺様式を残しており、国宝に指定されている。また数々の歴史の舞台となったところで、毛利元就に追われた大内義長が自刃したり、高杉晋作が明治維新の転機となる旗揚げをしたところでもある。古びた山門と石段、仏殿には、その深い歴史を偲ばずにはいられなかった。しかし、その歴史を感じる空間の中で、境内で食べたあのアイスクャンディーは暑かったので実に旨かったが、最後の方が溶けて棒から落ちてしまったのが今も残念でならない。



功山寺から壇具川沿いに集合場所へと向かったが、この壇具川はホテルの名所として知られているらしく、自然に近い状態に再現されており、その配慮がうかがえた。

昼少し前に長府を発ち、下関唐戸地区へと向かう。唐戸地区のウォーターフロントには水族館海響館・下関カモンワーフ（フィッシャーマンズワーフ）そして唐戸市場が並び、食事やショッピングが楽しめる商業施設が観光客を集めている。昼食にはこの唐戸市場の“るるぶ”で知った市場食堂に天然のふぐ刺しとからあげ、そして海老フライの付いた定食を予約していたが、行ってみると店内は満席。その上入り口には何人も並んで待っている有様。これには驚いたが、ひるまず店内に予約している竹田支部が到着したことを告げると、数人ずつ何組かに分かれてではあったが対応してくれ食事でありついた。この定食とビールは実に旨かったが、この市場の中での団体の昼食は外で並んで待っている人のことを思うと大変忙しくそして慌ただしいものであったが、しかし忘れられない思い出ともなった。市場内はふぐ刺しやにぎり寿司、ウニ井などが屋台形式で売られており大変な賑わいにまたまた驚いた。小生、折角なのでウニ井を食べてしまったが、豪華な昼食となった。

昼食の後、下関のシンボル、高さ160mの海峡ゆめタワーにのぼり、360度の大パノラマを眺望することが出来たが、小生の住む山間地とは全く異なる景色に圧倒されるばかりであった。これより関門橋を左右の眺めもそこそこに、あっという間に渡りきり九州へ、そして国道10号経由で一路竹田へと進み、2日間の研修を終えた。

今回の研修は岩本バスガイドと、我竹田支部、山浦筆頭副支部長の名調子に爆笑しながら本当に愉快的な旅であった。

来年を乞うご期待!!

さて竹田支部の近況であるが、支部ではこれまで建物調査をもとに街なみ整備方針を策定しイメージ図をつくり上げてきた。また竹田区域は国土交通省の承認による街なみ環境整備事業がスタートした。一方、地区住民は街づくり協定を結び、助成制度を活用して建物などを修景し、街なみを整備していこうという気運が高まってきた。このような状況下で竹田支部のこれまでの街づくりに対する取り組みの評価から、この修景事業に対して地区住民の支援組織として相談、助言、設計などの窓口となるべく依頼があり、『竹田まちなみ会』を発足した。その後、『竹田まちなみ会』は委託・助成制度等の要件を満たすべく、また社会的信用を更に得るためにNPO法人の申請をしたところである。

（竹田支部 工藤 伸吾）



第1回住宅セミナーの開催

11月9日(土)日田玖珠地域産業振興センターにおいて「これからの住宅づくり」をテーマに、一般住宅ユーザーを対象とした第1回目の住宅セミナーを開催した。募集人員は50名、参加費は無料である。

当日のスケジュールは次の通り。

- 13:00 受付・開場
- 13:30 講演会「環境と健康に配慮した家づくり」
講師 北九州市立大学 龍 有二 教授
- 15:10 住宅相談会・パネル、模型展示
住宅の現場見学会(市内3ヶ所)
- 16:30 閉会



【住宅セミナーの反省】

住宅を取り巻く地球環境や住む人の健康をテーマに、どうしたら自分にあった家・家族の安らぎのある家ができるか? 環境、健康、耐久性そして経済性まで「これだけは知っておいてほしい情報」を一般住宅ユーザーへ提供し、一緒に考えようと日田支部の調査研究部会が企画した。募集規模も50名程度とし、同時に住宅相談会、作品やパネル展示、そして現場見学会まで行う計画を立てた。

企画自体は早い時期に立案したのだが、実行段階までの期間が長くかかりすぎたようだ。担当者たちが忙しすぎたのだろうか? 打合せ終了後の「夕涼み会」などではたいそう盛り上がっていたのだが…。開催日(11月9日)直前にポスター、資料づくり、広報連絡など大変な作業があったようだ。

セミナー第1回目の参加者は、予定人員よりも少し多く、成功したかに思われた。しかし参加者のほとんどが関係者の顔で、目的の一般住宅ユーザーの参加はごくわずかだった。講演会も大学教授による環境共生住宅をテーマにしたもので、我々建築関係者にとっては多少興味のある内容だったが、一般参加者には余り興味を引かなかったようで、なかには途中退場した人もいたようだ。

会員の作品展示にも参加者が無く、前日の連絡でようやく2社が展示してくれたような状況だった。当日の講演会中に急遽作ったアンケートでも、厳しい意見があった。セミナーに対する取り組みにかなり多くの反省点があったと思われる。一般住宅ユーザーの興味が薄れぬように、次回からはもっとわかりやすいユーザー参加型の企画にしなければならないと感じた。

参加者に渡した資料の1ページに「木材は百年経過しても生きています。」と書かれてあった。地球環境や住む人の健康を守るためには、国産材は欠かせない材料だと思う。今後も、我々建築士の知識を一般ユーザーに広めてゆきたいとおもう。(森野 木林)



【見学会その1】

セミナー解散後、3会場で住宅の現場見学会(完成1、工事中2)を行った。

その内の完成会場では、15:30~17:00と短い時間であったが、20名弱の参加があった。

この住宅(延面積38坪)は構造から造作材まで杉をふんだんに使い(木材使用量31㎡)、内装は珪藻土及びシックイ仕上である。建物内に入った瞬間、木の香りが漂う空間に、見学者から「やっぱり木がいいねえ～」という言葉が多く聞かれた。(MS)

【見学会その2】

住宅セミナーの中に現場見学会があり、私の設計監理するT邸住宅が、健康・安心住宅をテーマとする今回の内容に合致するとのことで選ばれた。(本当は、

棟上後の構造体が見られるちょうどいい現場がなかったから。) 施主、施工者 (N組) の承認をもらい、見学会を受けることにした。

当日は、午後3時半ごろから現場見学会との連絡を受け、午前中より看板等の設置、資料の配付などあわただしく動き、午後1時頃には準備も終わり見学者を待つのみになった。午後3時をすぎて、夫婦連れの見学者 (現場近くで土地のみ所有の方で今回のセミナーとは関係ない人) がこられ、その後やはり近所の方が何事かと視察にこられて愛想良く対応した。住宅セミナーに参加し、現場まで来る見学者はなかなか現れず、その後関係者 (土会、日本の杉桧を守る会) 9名ほどがこられ見学した。その後、現場見学会を午後5時前に終了した。

今回のセミナーにあたり、一部の会員だけが奮闘して、あとの会員の動きが見られないような気がした。これは、私を含む土会員みんなが、「誰かに任せておけばしてくれる。」という安易な気持ちがあったのではないかと思う。これからもセミナーは続けていくとのこと、それではなおさら責任を持って土会員一人一人がやっていかなければならないと思う。

(原田 裕文)



【見学会その3】

最近の建築主は本やTVから情報収集しており、知識のみならず目も大変肥えている。

今回の見学者は「健康」に関して興味を持っており、シックハウス対策について非常に関心を示した。例えば、ペアガラスによる結露防止、基礎パッキンによる土台の腐食防止、自然素材の利用及び多用等である。特に、木炭塗料 (防蟻用、内部塗装用) の使用で身体にやさしく快適な室内空気環境を作る事について大きな関心を持ったようだ。また劣化防止対策や高耐久構造なども見学し、「これまで『カッコイイ住宅』に目を向けていた自分たちが恥ずかしい。」との感想をもらしていた。建築中の現場だったこともあり、完成したら見えない部分の施工状態を見ることができ、見学者にはたいへん有意義だったと思う。

現在、ローコスト住宅が増えているが、コスト面のみならず、「建築主や家族の健康」や「円満な家庭の構築」等まで思いを致すべきであろう。「家族の健康」「家の健康」がこれからの重要な課題になると思う。

(N建設 山口 真生)



支部活動報告 関パソ研究会Ⅱ

平成9年に関パソ研究会を立ち上げ約6ヶ月間の講習と研究を終了し、早5年経過しました。その間にコンピューターの操作環境は大きく変貌し、現在ではDOS環境でのメモリーセッション配分されたパソコン機種は製造されていないため、必然的にDOS版のJW-CADからウィンドウズ版のJWW-CADへの移行が余儀なくされました。会員の中にもこの移行への温度差があり、第2段「関パソ研究会」として再度講習会を立ち上げたのです。

講習と研究の最大目的は前記のCAD操作の修得としましたが、会員への参加申し込みを募ったところ、来るわくるわの大盛況!! 前回は大きく上回る35名の申し込みが士会内外からあり、主催者側として嬉しいのか悲しいのかわからない悲痛状態。まっそれだけ関心があることと、会員外からの申し込みに対しバリアーを立てる訳にはいかないし、士会活動の普及と会員増強のため、受け入れるしかないでしょう。...辛いねー。

これだけの人員を一度に講習するとなると内容を吟味せざるをえず各人のパソコンに対するレベルチェックを行いました。まず申し込み時のパソコンの有無や経験年数等の申告を基に、個別の問診を行い総合評価を検討した後、カリキュラムの作成しました。その結果、初心者からの対応としてパソコンのイロハから講習することとし、段階に応じて参加の人員を増やすことにしました。



講習内容

- § 1 開始式ガイダンス
- § 2 パソコンとウィンドウズの仕組み
- § 3 エクセル演習
- § 4 インターネットとeメール
- § 5 JWW-cad解説 インストール、基本設定
- § 6 JWW-cad演習1 画面操作、マウス操作
- § 7 JWW-cad演習2数値入力、レイヤー設定
- § 8 JWW-cad演習3課題作図
- § 9 JWW-cad演習4課題作図
- § 10 JWW-cad演習5課題作図
- § 11 JWW-cad演習6 課題作図
- § 12 関連ソフトの演習



以上の講習、研究を実施し、個人のレベルもかなりアップし、当初の段階では「わからないところがわからない」状態でしたが、「わからないところがわかる」状態に変化し、「わからないところを調査研究し自分の技術に蓄積する」ところまで発展しました。

特筆すべき点は、講師陣は当初2名体制でしたが、回を重ねるたびに理解度の高い会員が講師陣へと変化し会員相互で研究しあう姿がみられたことです。1人の知恵より多くの知恵、教えられることにより新発見が生まれ、教えることで、より確実に自分の知識として定着する。このことがこの関パソ研究会を通じて会員に定着したようです。年末を迎え各人とも忙しくなる時期です。師走の間は一旦休止しますが、新年を迎えたら、新しいカリキュラムを作成し、どんどん奥深く研究する予定です。知識や技術は、みんなで研究し分かち合うことで、みんなのレベルが上がることを期待しています。

今年は優しく講義したけど、来年からはビシバシしごくかぁー。

平成14年 建築士会 まちづくり活動助成事業中間報告

建築士会が地域のまちづくりの一環として、地域貢献活動を行う場合にその活動費の一部を助成する制度を平成13年度から実施しています。

平成13年度は中津支部、玖珠支部、佐賀関支部がそれぞれ特徴ある活動を行い、その実績は地域の住民や行政からの高い評価を得られました。そして今年度は下記のグループのまちづくり活動に支援することになりました。

平成15年度以降も助成制度は継続しますので、会員の積極的な活動を期待しています。

臼杵支部

グループ名：通称「コント・ソンデ」

(建築士会臼杵支部南蛮文化学習活動)

活動の内容：たいしたことが出来るわけではありませんが、臼杵に残るポルトガルとの関わりのある「物」や、「事」について調べ、臼杵の散策資料を作成し、建築関連の人だけではなく、一般市民、観光客に広く利用してもらえる案内マップを作成する。

解説

上記の活動の課題・目的・内容・計画が、4拍子そろってすばらしい(?) ということで、今年度本会のほうから活動の助成金まで戴き、とまどいながらも、なんや、かんや、やっています。

実際は、コント・ソンデ自体は4年ほど前から、動き始めています。この会の前進は日蘭交流400周年の際、臼杵市に在籍していたオランダからの国際交流員を交えてオランダ学習会を始めたのが最初です。交流員のクリスチャンネさんが帰国し、その後、今後について検討しました。そして臼杵はやはり、紅毛(オランダ)より、南蛮で!、ポルトガルで!という気運が盛り上がり、昨年度から南蛮学習会と銘うって動き始めました。

臼杵高校でもポルトガル語の教鞭を執っておられる吉田先生にお願いし、ポルトガル語から、臼杵と南蛮との関わり・歴史・中世の臼杵はすごかった、ということ...その他諸々。について、メンバーはたたき込んでもらっているところです。

いままで、臼杵がそういうところだとはほとんど知らなかったメンバーの目の色が変わりました。吉田先生のパワーがのりうつったようです。自分たちの無駄に過ごした過去?を悔いました。

目的を失った中年男性達に活路が開かれました。(表現がちょっと、オバ-でしたが「なごり雪」(臼杵を舞台にした映画、只今上映中)風に書こうと思ひまして。)

まあ、そういうところの含みもあって、散策マップを作るという目標をおいておけば、それを、実現させるためには何らかの学習もするでしょう。というのが、一番のねらいです。自分の郷土の歴史を知っていく度に感じるのは、普段日常の生活圏にある廻りの物、事にはすべて歴史が繋がっているのだと気がつかされ、新鮮な発見をいつも得ることが出来るということでしょうか。

本業とはちょっとかけ離れた作業をしているメンバーですが、士会会員だけとの繋がりに、もう一歩杵をはみ出した繋がりに発展していて、いろいろ今後も楽しみです。

取り込ませてもらった団体：

臼杵の歴史景観を守る会

臼杵まちづくり協議会

ご協力いただいている方々：

県立芸術文化短期大学

晴谷先生

臼杵高校

吉田先生

ポルト蔵

安野店長

その他

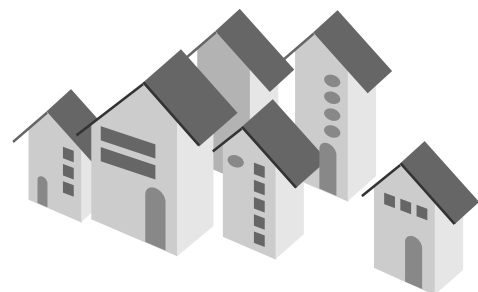
市民数名

参加者：

臼杵支部有志

公表20名(実数?名)

臼杵支部：高橋利治 記



「日田往還の再発見」

グループ名：建築士会日田支部まちづくり部会

活動目的等：日田往還の実地調査、風景調査を行い現代に残る住還筋の掘り起こしや現代の風景をPRし、まちづくりのきっかけとする。

構 成 員：野村 晋二（代表者）さんほか9名

日田支部まちづくり部会は、「隈のまちなみ調査」を期に発足された。部会の継続的活動として、いろいろと検討してきたが、「まちなみ」に関しては他の各種団体も同じような活動を行っているため、まだまだ認知度が低い「日田往還」について調査活動を行うこととなった。

「日田往還」とは、江戸時代の幕府直轄地（天領）である日田の地に置かれた「西国筋郡代、永山布政所」と各地を結ぶ道の総称である。人のみならず、年貢米や日田金が行き来した道でもある。当時は、目的地の名をとり「 道」と称したようなので、「日田往還」は相手側から見たときの名称である。

これまでに、各種文献の調査、収集を行い、道筋の確定を行っている。今後、現地調査を行い、当時の姿を残す場所、残すべき場所の記録をして、最終的にマップを作成することを目指している。

この調査の流れの中で、12月15日（日）に「日田往還石坂石畳ウォーキング大会」を行うことになった。現在「日田往還」と言うと、当時の石坂石畳が残っている「豊前道（中津方面行き）」が、良く知られているが、ここだけが「日田往還」と思っている人が多い。実際には日田より6道8筋あり、そのPRもしたいと思っている。当日は、石坂石畳のある自治会と共催することになっている。「日田往還」のみならず、「建築士会」のPRにもなればと願う。

グループ名：竹田まちなみ会

活動目的等：竹田市が進めている歴史的環境を活かしたまちづくり（街並み環境整備事業）において、建築物、門塀等の修景、新築を行う市民からの技術的、制度的な相談に対し助言をしたり、市役所の業務のサポートを行い竹田らしい街並みの創造に貢

献する。またNPO法人としての認証を得て、より信頼されるグループをめざす。

構 成 員：松井 基泰（代表者）さんほか21名

建築士会竹田支部では、平成10年度竹田市より委託を受け竹田市街なみ環境整備の現況・物件調査に始まり、平成11年度街なみ整備方針策定、平成12年度街なみのイメージ図の作成、平成13年度竹田まちなみ会設立準備を経て平成14年6月7日、竹田まちなみ会を設立しました。

会員は、社団法人大分県建築士会竹田支部会員とし、規約に基づき役員並びに顧問を置き、活動することとなりました。

修景助成は国土大臣の承認を受けた地区において街づくり協定に従い修景施設の新築・増築・改築・改修等を行う場合、対象となり外観の修景に必要な経費の他、設計管理等の補助を受けることができ、ガイドラインに定められています。

補助申請の基本的な手続きは、事前相談 協議申請 工事 工事完了となります。

まちなみ会は の事前相談を担当し、施主より修理・修景内容の相談を受け、施主の都合の良い日に現地に出向き修理・修景内容を聞き、又周囲の景観を考え助言をし、必要に応じて実測や外観調査、内部調査等を行い概略図面及び概算見積書を作成し、市に提出しています。実際は概算見積書とは言え平面図・立面図・詳細図等まで作成し、実施設計と大幅に違わないよう設計数量と見積書を作成する努力をしています。現地調査は平日もあれば休日もあり班構成で調査にあたっていますが、会員の都合はなかなか思うようにはつかず難しい面も多々ありますが、皆頑張ってくれています。各班で作成した報告書についてはまちなみ会と県の担当者、市の担当者により協議を行い最終報告書を市へ提出しています。

又、実施設計に於いて施主が業者を選定し入札を行う為、我々支部会員が実施設計に携わるとは限らないので、考えの相違からまちなみ会の助言や概算見積書通りにいかないことや、国の補助事業に基づく実施設計の提出書類の作成に熟知していないことによるトラブルもありなかなか大変なようです。

まちなみ会ではこのようなトラブルを無くす為勉強会を行う一方、研修で古い町なみや、整備された町なみの視察に出向いています。このような活動を通じて社会的信用を増加させることと、事業に対しての補助・委託・助成制度等の要件を満たすべきまちなみ会の趣旨のもと、今後も会員一同竹田らしい（竹田らしいとは何かまだわからないところ有り）魅力ある街づくりにすこしでも貢献できればと奮闘しています。

宇佐支部

グループ名：宇佐街並み修景隊

活動目的等：失われていく四日市地区の街並み・建築物等の再生をめざして、東西本願寺別院、陣屋門などの歴史遺産と一帯となった街並み整備の提案を模型、CGなどビジュアルに行うとともに、市民討論会を企画。

構成員：椛田 康一（代表者）さんほか9名。

宇佐支部では、（社）大分県建築士会まちづくり活動支援を受けて、春に「宇佐町並み修景隊」を発足しました。11月には計画に則って模型作りに着手しており、今のところ計画通りです。

活動計画

グループ名	宇佐町並み修景隊
活動課題	四日市のふるき町並みの復興をめざして～建築士としての役割とは
活動目的	失われてゆく四日市地区の町並み・建築物等の再構築
活動内容	東西本願寺別院及び陣屋門(陣屋跡)の歴史遺産と本町通り一帯とのリンクした町並み整備の提案を行う
活動計画	模型及びCG等によりヴィジュアルに町並み再生の提案・展示及び市民討論会を計画

町並み視察（他地区の取組みを参考にする）

模型作り

（現状復元、建築士からの提案など 1/300で）

展示・講演会・討論会

...以上を年度内に実現したい考えです。

そこで の町並み視察をきっかけに他地区の町並み或いは修景状況を調査することにしました。9月21日に臼杵支部藤澤氏他メンバー8人（！）に映画「なごり雪」のロケ地となった二王座などを、大分支部の穴井氏に戸次本町を案内していただきました。昼食は臼杵市ふれあい情報センター横の「ポルト蔵」で臼杵郷土料理を囲んでワイワイガヤガヤと楽しくいただきました。なかでも、「黄飯（おうはん）」は帰っても語り草になるほど思い出深いものになりました。アリガトウ、ミンナ。戸次本町は江戸末期から戦前にかけて在町として栄えた地区固有の伝統的な町並みです。大分市の指定有形文化財である帆足家酒造蔵の修復状況を見学しました。

振りかえってあらためてわが町を見渡してみると、この四日市の周辺にもまだ修復して愛されるべき古い建築物がいくつもあります。メンバー10人のしゅーけー隊は、ただ今 の模型造りに突入しております。

（宇佐支部 渡辺 賢一）





事務局だより

事務局からお詫びと訂正

「建築士おおいた」創立50周年記念特集号において
創立50周年記念表彰者2名の記載もれがありましたので、お詫びして掲載致します。

- ・永年会員表彰(会員歴50年以上)
別府 田原 宏
- ・永年会員表彰(会員歴25年以上)
大分 工藤 義雄

【行事報告】

女性部・大分支部共催講演会

日時 平成14年8月3日

場所 アートプラザ

参加 50名

講演 工学博士 イートンヒ 李東熙
演題

「趣味として鑑賞する韓国伝統建築の世界」

サマーセミナーin佐伯

日時 平成14年10月5日～6日

場所 宇目町

参加 140名

概要 テーマ

～爽秋の唄げんかの里でトトロに逢えたら...～
“考えよう！自らの未来 自らの手で！”

講演会 基調講演

「CPDと専攻建築士制度について」

建築士会連合会前青年委員長

美和 健一郎氏

・支部交流会

第45回建築士会全国大会

日時 平成14年10月16～19日

場所 三重県伊勢市

参加 24名

概要 記念式典、分科への参加
会議報告

【会議報告】

記念誌編集作業

日時 平成14年7月24日

場所 建築士会事務局

出席 8名

概要 記念誌「建築士おおいた」合併号の編集
について

記念誌編集作業

日時 平成14年8月8日

場所 建築士会事務局

出席 8名

「建築士おおいた」編集作業

日時 平成14年8月8日

場所 建築士会事務局

出席 10名

記念誌編集作業

日時 平成14年8月21日

場所 建築士会事務局

出席 7名

「建築士おおいた」編集作業

日時 平成14年8月21日

場所 建築士会事務局

出席 7名

記念誌編集会議

日時 平成14年8月30日

場所 建築士会事務局

出席 7名

記念誌「建築士おおいた」最終打ち合わせ

日時 平成14年9月4日

場所 建築士会事務局

出席 2名

建築士会支部職員研修会

日時 平成14年9月20日

場所 別府市「亀ノ井ホテル」

参加 17名

概要 各支部における事務上の問題点について
意見交換会

三役会議

日時 平成14年10月10日

場所 建築士会事務局

出席 9名

概要 支部長・理事合同協議会の議題について
住宅フェアの対応について

支部長・理事合同協議会
日 時 平成14年11月22日
場 所 別府市「亀の井ホテル」
出 席 39名
概 要 各委員会報告について
青年部会・女性部会の活動状況の報告について
中間決算報告について

【連 合 会 関 係】

第3回専攻建築士制度推進特別委員会
日 時 平成14年7月31日
場 所 東京都
出 席 岩瀬会長

第4回専攻建築士制度推進特別委員会
日 時 平成14年8月30日
場 所 東京都
出 席 岩瀬会長

第1回制度委員会
日 時 平成14年9月2日
場 所 東京都
出 席 今永青年部長

【九州ブロック会関係】

会長会議
日 時 平成14年10月28日
場 所 沖縄県名護市
出 席 岩瀬会長

事務局職員研修会
日 時 平成14年11月29日
場 所 熊本市
出 席 川村・手島

【建築士試験業務関係】

建築士試験業務反省会
日 時 平成14年11月8日
場 所 大分市
出 席 14名
概 要 平成14年度建築士試験実施結果報告
試験実施にかかる問題点と反省について

建築士試験業務九州ブロック第2回連絡会議
日 時 平成14年12月12日
場 所 福岡市
出 席 岩瀬会長・御手洗事務局長

【その他の会議】

「環境と住まいフェスタinおおいた」の出展説明会
日 時 平成14年8月27日
場 所 大分県教育会館
出 席 姫野・御手洗事務局長

「木と暮らしのフェア2002」
第2回実行委員会・幹事会合同会議
日 時 平成14年9月25日
場 所 大分県林業会館
出 席 今永青年部長
概 要 「木と暮らしのフェア2002」の実施計画
について
フェア開催の周知・PRについて
「木と暮らしのフェア2002」行事別作業
分担について

「環境と住まいフェスタinおおいた」広報宣伝部会
日 時 平成14年9月26日
場 所 大分県木材協同組合連合会
出 席 宮崎(隆)・阿部
概 要 ポスター、パンフレット、
新聞広告等について

「環境と住まいフェスタinおおいた」
第3回実行委員会
日 時 平成14年10月1日
場 所 大分県木材協同組合連合会
出 席 岩瀬会長・御手洗事務局長
石井大分支部長
概 要 ・経過報告
・予算
・広報
・運営計画、動員計画等について

大分県安全・安心まちづくり推進協議会
日 時 平成14年10月17日
場 所 大分県共同庁舎
出 席 首藤常務理事

～平成14年 1級建築士・2級建築士試験合格おめでとうございます。～

1級
合格者
16名

佐々木真江 光永 剛 斉藤 由美 酒井 清美 松岡 豊 朝来野一朗
 三明 保則 羽野 福美 梅木 裕章 太神 周也 井上 信也
 小野 晶紀 永井 真紀 原田 隆徳 工藤 武範 丸山 治

2級
合格者
105名

高橋 秀幸 八坂 綾子 堀 雅博 奥村 理沙 佐藤 誠 山田 芳孝 岩切 訓子
 瀬 貴志 甲斐ひとみ 衛藤 利幸 田辺 勇年 金古 智徳 王 雷 三浦 誠也
 後藤 崇 安部 好正 野崎 哲則 安部 仁 上田 芳雄 藤丸 勝康 山本 堅一
 園田 真也 原田 暁美 宿利 将勝 木 勝章 木村 純孝 荒金 孝行 首藤 藍子
 吉野 寿 佐木 良江 松井 健児 倉 公博 坪田 典子 佐藤 和生 坂元 努 江藤 政信
 渡 郁司 宮脇 伸吾 村井 紀子 安永 賢示 河野 雅也 若林 剛 原田美樹子 佐藤 宣洋
 村上 数樹 小野 勇 中原 晴剛 佐藤 崇光 川 美央 甲斐あゆみ 佐藤聖二郎 銚立 清孝
 越川 直彦 吉川 寛 坂本 行秀 釘宮 嘉子 佐藤 功治 森 欣也 後藤 紀文 田口 祥一
 島谷 真司 秋吉 勇 中畑 修二 山下 公愛 後藤 成記 田中 俊之 池田 政美 宿利 博隆
 鶴林 昭宏 石堂 直也 江藤 美香 手嶋 誠 口 陽平 佐藤 幸司 川野 大和 陣内 良紀
 甲斐 健司 平林 敬士 阿部 浩之 池田 訓士 鴨 勇光 大城 太一 川上潤一郎 長岡 秀孝
 原田 芳明 江口 誠 小野 和洋 佐藤 賢治 猪俣 莊介 綾部 淳二 梅木 裕章
 大道 和敏 清永 久美 村田 勝 丸茂 憲子 笠木 俊和 瞰野 沙織 島 寛之
 本 研二 佐藤 規博 吉浦 公一 矢野 裕幸 小笠原龍司 大塚 祥輝 工藤 雅也

新 会 員 紹 介

(H.14年 8月入会から11月入会)

支部	氏 名	生年	級別	登録番号	〒	住 所	電 話	勤務先(☎)
三 重	阿南 英彦	S45	1	305046	879 - 6635	大野郡緒方町軸丸435	(0974)42-3722	
大 分	垣松 数弘	S38	2	6061	879 - 1504	速見郡日出町大字大神2429番地	(0977)72-9756	(有)新巧住建 (097)556-3090

編集委員会では みなさんの投稿を待っています。

絵・スケッチ・短歌・俳句・随想なんでも結構です。あなたの知られざる才や技を御披露いただきたいのです。

各支部の編集委員までおとどけください。本部に直接送ってくださってもかまいません。よろしくお願い致します。